

【国語】現代の国語 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編現代の国語」(現国701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○ルリボシカミキリの青(随想) ○異なる種類の文章を読み比べよう ▼考えよう グラフや写真の読み取り方	・筆者の少年時代の体験について書かれた随想を読み、自分自身の興味や関心について考える。 ・複数の文章を読み比べ、文章の構成や論理の展開などについて理解する。 ・図表や画像から必要な情報を読み取る。
6	○評論の読み方 ○未来をつくる想像力(評論) ○水の東西	・評論文の文章構成を理解し、読解の基本をおさえる。 ・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・「水」を巡る日本と西洋の文化を比較し、日本文化の特質について理解を深める。
7	○スキマが育む都市の緑と生命のつながり ○無彩の色	・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 ・色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。
10	○鍋洗いの日々 ○森で染める人 ▼考えよう 相手に応じた言葉の選び方	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・相手意識をもって言葉を選ぶ。

月	単元名	学習内容
11	○美しさの発見(評論) ○りんごのほっぺ	・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み,展開を論理的に捉え,筆者の価値観を理解する。 ・出来事の順序に着目しながら,戦時下の人々の状況と,一貫した筆者の思いを読み取る。
12	○不思議な拍手 ○真の自立とは	・人間の心・意義について体験を踏まえつつ考察する文章を読み,人間への認識を深める。 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み,自分の考えを持ち,視野を広げる

【国語】 言語文化 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編言語文化」 (言文701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○とんかつ ○柳あをめる【短歌】 ○雪の深さを【俳句】	・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。
6	○古文に親しむ (古文入門) ○うつくしきもの(枕草子) ○折々のうた	・古文のリズムや調子を知り、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・作品の内容を自分と関連付けながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。
7	○訓読の基本 ○故事成語 ○漢詩の形式ときまり ○鹿柴	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の訓読に慣れ親しむ。
10	○短歌の読み方 ○俳句の読み方 ○雪の深さを【俳句】 ○羅生門	・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。
11	○伊勢物語(芥川・筒井筒)	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。

月	単元名	学習内容
12	<p>○故事成語(五十歩百歩・虎の威を借る)</p> <p>○絶句と律詩一七首(春望)</p> <p>○論語</p>	<p>・故事成語の元になった話を読むことを通して,漢文の読解に慣れ親しむ。</p> <p>・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り,優れた表現に親しむ。</p> <p>・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り,孔子の思想に興味を持つとともに,ものの見方や考え方を豊かにする。</p>

【国語】 論理国語 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編論理国語」 (論国701)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○対話とは何か	・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。
	○世界をつくり替えるために	・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。
	○少女たちの「ひろしま」	・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。
	○「ふしぎ」ということ	・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。
6	○学ぶことと人間の知恵	文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。
	○ラップトップ抱えた「石器人」	・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。
	○思考の肺活量	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。
	○安心について	・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。
7	○弱肉強食は自然の摂理か	・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。
	○複数の「わたし」	・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。

月	単元名	学習内容
	○はじめに「言葉」がある ○楽に働くこと、楽しく働くこと	・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。 ・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。
10	○最初のペンギン ○豊かさとは生物多様性	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。
	○物語の外から ○カフェの開店準備	・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。
11	○鏡としてのアンドロイド ○ロボットが隣人になるとき ○言葉は「ものの名前」ではない ○科学的「発見」とは	・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。 ・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。
12	○知識における作者性と構造的性 ○もう一つの知性 ○ホンモノのおカネの作り方 ○未来のありか	・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。 ○科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。 ・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。

【国語】国語表現 学習指導計画

教科書	東京書籍「国語表現」(国表 702)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	<ul style="list-style-type: none"> ○分かりやすく説明しよう ○接続の言葉 ○同音異義語 ○分かりやすく説明しよう ○身体で表現しよう ○同訓異義語 ○対義語・類義語 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を考える。 ・学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を振り返って、状況に応じて使えるようにする。 ・基本となる順序を理解し、選択することができる。 ・自分の身体が表現しているものについて考えを深める。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○「問い」を考えよう① ○電話のかけ方・メールの書き方 ○手紙の書き方 ○文の書き方 ○「問い」を考えよう② ○「問い」の活用 ○同訓異義語 ○四字熟語 	<ul style="list-style-type: none"> ・問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きくかわることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 ・実際のインタビューを想定し文章構成力や表現力を養う。

月	単元名	学習内容
7	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分」を表現しよう ○敬語表現 ○論理的な文章を書こう① ○対義語・類義語 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析の内容や第三者の意見もふまえて、客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書・履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。 ・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○論理的な文章を書こう② ○思考ツール ○同訓異義語 ○話し合う力をつけよう ○情報の集め方 ○故事成語・ことわざ ○表現と読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。 ・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 ・本を紹介したり、本の内容について対話したりする活動を通して、思考を深め、表現を豊かにする。
11	<ul style="list-style-type: none"> ○情報活用力を身につけよう ○情報の集め方 ○説得力のある提案をしよう ○同音異義語 ○三字熟語 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識を持ち、相手にとって有用な内容や理解しやすい表現を吟味する。 ・プレゼンテーションで心を動かすのに必要な身体表現（発声・身振り）や態度などについて学び、説得力のある表現について理解する。
12	<ul style="list-style-type: none"> ○表現を楽しもう① ○故事成語・ことわざ・慣用句 ○表現を楽しもう② ○レトリック ○助数詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句、短歌、エッセー、物語など、いろいろなジャンルの作品創作を通じて、言葉を用いて表現することを楽しむ。 ・読み手に伝わるよう、表現を効果的に工夫し、自分ならではの作品を創作する。 ・エッセー、物語などさまざまなジャンルの作品創作を通じて、言葉を用いて表現することを楽しむ。

【地理歴史】 日本史探求 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「日本史探求」 (日探 701)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 2節 摂関政治と貴族文化	<p>○人類が日本列島で生活を営み始めた時代から平安時代までを扱い、先史・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。</p> <p>○旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から先史・古代の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。</p> <p>○第1章で学んだ原始社会の特色や古代の国家や社会との関わりを理解や時代を通観する問い、第2章で表現した古代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p>
5	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立	<p>○平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。</p> <p>○院政期から武家政権成立期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時</p>

月	単元名	学習内容
	<p>第2章 歴史資料と中世の展望</p> <p>第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷</p> <p>2節 武家支配の広がり と国際交流</p>	<p>代を通観する問いを表現する。</p> <p>○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から中世の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。</p> <p>○第1章で学んだ古代から中世への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した中世を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p> <p>○地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p>
6 7	<p>第3編 近世の日本と世界</p> <p>第1章 近世社会の形成</p> <p>第2章 歴史資料と近世の展望</p> <p>第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立</p>	<p>○安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解する。</p> <p>○織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近世の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。</p> <p>○第1章で学んだ中世から近世への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近世を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p>
8	<p>2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺</p> <p>第4編 近現代の地域・日本と世界</p> <p>第1章 近代社会の幕開け</p>	<p>○幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。</p> <p>○近世の幕末期から現代までを扱い、「歴史総合」の学習をふまえ、世界の情勢の変化とその中における日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解する。また、それらをふまえて、現代の日本の諸課題について、多面的・多角的に考察して理解するとともに、歴史的経緯や根拠をふまえて構想する。</p> <p>○幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。</p> <p>○資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近代の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。</p>

月	単元名	学習内容
	第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係	○第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。
9	2節 国民国家と資本主義の成立 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本	○立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 ○大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 ○第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。
10	5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題 4章 現代の日本の課題の探究	○我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 ○我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 ○現代の政治や社会の枠組みを理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 ○現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 ○これまでの学習をふまえ、持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察、構想して表現する。

【地理歴史】世界史探究 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「世界史探究」 (世探 701)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	序章——世界史へのまなざし	○世界史探究の導入としての位置づけを踏まえ、生徒が現在と異なる過去や現在につながる過去に触れ、世界史学習の意味や意義に気づくようにする。
	第1編 諸地域の歴史的特質	○王権と身分・階級、生活と生業、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
	第1章 古代文明の出現	○各地域の古代文明について、その共通点や相違点、それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。
	第2章 西アジアと地中海周辺	○西アジアと地中海周辺国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているかなどについて理解する。 ○この世界で成立した宗教が現在の世界の宗教分布とどのように関係しているかについて理解する。
5	第3章 南アジア	○南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」とはどのようなことなのかなどについて理解する。
	第4章 東南アジア	○東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。
	第5章 東アジアと中央ユーラシア	○東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色について理解する。
	第6章 アフリカ、オセアニ	○ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境

月	単元名	学習内容
	ア, 古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	との関わりに注目しながら理解する。 ○広がる世界像, 宗教や科学・技術および文化・思想の伝播, 交易の拡大, 都市の発達, 国家体制の変化などに関する諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し, 問いを表現する。 ○アジア・アフリカの広大な地域が, イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。
6 7	第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	○9世紀から15世紀にかけて, ヨーロッパ世界ではどのような政治, 経済, 社会, 文化の変動がおこったのか, また, それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されていったのかなどについて理解する。 ○歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ, どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。 ○インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。 ○大交易時代に, なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に大きく変化したのか, また, 世界の諸地域間の関係は, 前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのかなどについて理解する。
8	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	○16世紀から18世紀にかけて, アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか, また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。 ○16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家には, どのような特徴があったのか, また, その形成にはどのような要因が働いていたのかなどについて理解する。 ○人々の国際的な移動, 自由貿易の広がり, マスメディアの発達, 国際規範の変容, 科学・技術の発達, 文化・思想の展開などに関する諸資料を活用し, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し, 問いを表現する。 ○18世紀半ばから19世紀半ばにかけて, 欧米で産業革命や, 国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか, また, このような変革は, 現代までどのような影響を与えているのかについて理解する。
9	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	○産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し, 後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか, また, ヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかについて理解する。 ○アジア諸国が自国の危機をどのように認識し, 欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめたのか, また, 欧米列強はなぜアジアやアフリカなどに進出しようとしたのかについて理解する。

月	単元名	学習内容
	<p>第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容</p> <p>第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦</p>	<p>○第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点において異なるのか、そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかなどについて理解する。</p> <p>○世界恐慌は、経済や政治をどのように変化させたのか、また、そのなかで台頭したファシズム国家によってひきおこされた第二次世界大戦の推移は、戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかについて理解する。</p>
10	<p>第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア</p> <p>第4編 グローバル化と地球的課題</p> <p>第20章 冷戦の世界化と国際制度</p> <p>第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化</p> <p>第22章 21世紀の地球的課題と人類社会</p> <p>21世紀の地球的課題と世界史</p>	<p>○第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際のアジアの戦後は、どのような点が連続し、あるいは異なっていたのかについて理解する。</p> <p>○国際機構の形成と平和への模索、経済のグローバル化と格差の是正、科学技術の高度化と知識基盤社会などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地球世界の課題を読み解く観点について理解する。</p> <p>○冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、冷戦は世界に広がるなかで、それぞれの地域でどのような意味をもったのかについて理解する。</p> <p>○冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺したのか、また、その後が生じた経済のグローバル化は何を契機におこり、世界経済をどのようにかえていったのかについて理解する。</p> <p>○21世紀に入り、地球上ではどのような問題が生じ、人類社会はどのような課題に直面し、それを克服しようとしているのかについて、これまでの歴史をふまえ、その課題に取り組む当事者として考える。</p> <p>○世界史探究の学習を基に、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、地球世界の課題を理解する。</p>

【地理歴史】 地理探求 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「地理探求」(地探 701)	単位数	4単位
		学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。
- ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。
- ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 世界の地形 第2節 気候と自然環境 第3節 気候と人々の生活	<p>○生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解します。</p> <p>○世界の大地形の分布の特徴についてプレート境界や地震帯・火山帯分布との関係から理解を深めます。</p> <p>○変動帯の特徴とその形成過程をプレート運動との関係からとらえるとともに、人間生活との関係について理解します。</p> <p>○安定陸塊の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解を深めます。</p> <p>○変動帯に見られる小地形の一つである河川がつくる地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について理解します。</p> <p>○海岸地形やサンゴ礁地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について理解します。</p> <p>○氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴とその形成過程、人間生活との関係について理解します。</p> <p>○地震・津波の発生メカニズムやそれによってもたらされる被害について理解します。</p> <p>○気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解します。</p> <p>○大気大循環による風の流れの特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、大気大循環と気候について理解します。</p> <p>○海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解します。</p> <p>○世界規模での各気候帯の分布の特徴をふまえ、各気候帯と植生や土壌との対応関係について理解します。</p> <p>○各気候区の分類基準の理解をふまえ、雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて、各気候区について理解します。</p> <p>○熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯(冷帯)の各気候区の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解します。</p> <p>○高山気候の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多</p>

月	単元名	学習内容
		<p>面的・多角的に理解します。</p> <p>○異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害と被害の状況について理解します。</p>
5	<p>第4節 日本の自然環境と自然災害</p> <p>第5節 世界の環境問題</p> <p>第2章 産業と資源</p> <p>第1節 産業の発展と社会的分業</p> <p>第2節 農林水産業</p> <p>第3節 食料問題</p> <p>第4節 エネルギーと鉱産資源</p>	<p>○日本の地形の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解します。</p> <p>○日本の気候の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解します。</p> <p>○防災・減災の取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について理解します。</p> <p>○地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりをふまえて理解します。</p> <p>○地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。</p> <p>○オゾンホールや大気汚染の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。</p> <p>○森林破壊の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。</p> <p>○砂漠化や水問題の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。</p> <p>○日本の環境問題の歴史的な経緯と現状をふまえた上で、問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について理解します。</p> <p>○産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解します。</p> <p>○産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について理解します。</p> <p>○農業立地の成立要因について自然条件、社会条件、市場条件などとの関わりから理解します。</p> <p>○農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから理解します。</p> <p>○現代農業の特色についてフードシステムの観点から理解するとともに、グローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ、アジアを例に理解します。</p> <p>○世界の農産物流通の特徴について小麦、米、畜産物、野菜を例に理解します。</p> <p>○森林資源の分布と役割ならびに林業の現状、水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について理解します。</p> <p>○日本の農林水産業の特徴をふまえた上で、変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから理解します。</p> <p>○食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野から理解します。</p> <p>○食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について理解します。</p> <p>○自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題つ</p>

月	単元名	学習内容
		<p>て多面的・多角的に理解します。</p> <p>○暮らしを支えるエネルギーの重要性, 需要の高まりによって生じる問題点について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○石油, 石炭, 天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状, 世界における近年のエネルギー事情の動向について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○各種電力生産の特徴と課題への深い理解をもとに, 効率的な電力供給へ向けた取り組みについて, 持続可能性という観点から模索します。</p> <p>○工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について, 鉄鉱石と非鉄金属, レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解します。</p>
6 7	<p>第5節 資源・エネルギー問題</p> <p>第6節 工業の立地と工業地域の変容</p> <p>第7節 第三次産業</p> <p>第3章 交通・通信・観光</p> <p>第1節 交通・通信</p> <p>第2節 貿易と経済連携</p> <p>第3節 観光</p> <p>第4章 人口, 村落・都市</p> <p>第1節 人口</p>	<p>○化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題, 石油戦略に関わる国際政治の動向について理解します。</p> <p>○地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○わが国の資源・エネルギーにおける高い輸入依存度を脱却し, 自給率向上を目指す取り組みや, 新たな資源開発の動向について理解します。</p> <p>○工業の立地条件が複数の類型に区分できること, 立地条件が時代とともに変化する背景や要因, もたらされる課題について理解します。</p> <p>○繊維・鉄鋼・石油化学を事例に, 各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について理解します。</p> <p>○自動車とエレクトロニクスを事例に, 多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について理解します。</p> <p>○ICT の導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について理解します。</p> <p>○グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について理解します。</p> <p>○工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について理解します。</p> <p>○高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について理解します。</p> <p>○サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態, それによって生じる小売業立地の変化について理解します。</p> <p>○情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について理解します。</p> <p>○医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態, 保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について理解します。</p> <p>○移動手段の発展が時間距離の短縮につながり, グローバル化を促したことで, その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解します。</p> <p>○航空を含めた交通の発達がもたらす利点と問題点について多面的に理解するとともに, 環境負荷を減らすための新たな交通のあり方について検討します。</p> <p>○情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に, そのような社会が進展することによる利点と問題点について理解を深めます。</p> <p>○自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解します。</p> <p>○現代の貿易が抱える課題について世界レベル, 国内レベル各々の視点</p>

月	単元名	学習内容
		<p>から多面的・多角的に理解します。</p> <p>○観光産業発達の背景と動向, その地理的展開の特徴について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることをふまえ, 日本における観光の変化の動向について理解します。</p> <p>○世界の人口分布の特徴とその背景をふまえた上で, 地球規模での人口増加の変遷とその要因, 今後の予測について理解します。</p> <p>○人口動態の推移について理解するとともに, 各国の置かれた社会状況を読み解く手段としての人口ピラミッドの有効性について認識します。</p> <p>○地球規模での人口移動の変遷について歴史的背景から理解するとともに, 労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について認識を深めます。</p>
8	<p>第2節 人口問題</p> <p>第3節 村落・都市</p> <p>第4節 居住・都市問題</p> <p>第5章 生活文化, 民族・宗教</p> <p>第1節 生活文化の地域性</p> <p>第2節 民族・言語・宗教</p> <p>第3節 民族問題</p> <p>第4節 現代の国家と領土問題</p> <p>第2編 現代世界の地誌的考察</p> <p>第1章 現代世界の地域区分</p> <p>第1節 地域区分の意義と方法</p>	<p>○発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因, もたらされる影響についての理解をふまえ, 問題解決へ向けての国際協力のあり方について模索します。</p> <p>○先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因, もたらされる影響についての理解をふまえ, それらを克服するための取り組みについて模索します。</p> <p>○村落の機能と立地要因, 形態の特徴や成立条件についての理解をふまえ, 近年の村落の変化の状況と抱えている課題について認識を深めます。</p> <p>○都市機能の拡充過程をふまえ, 都市システムが形成される背景について, その階層性との関わりから理解するとともに, 近年の都市間競争の活発化により, 世界都市を目指す動きが盛んであることを理解します。</p> <p>○都市の成長拡大によってその内部構造が複雑化すること, 都市圏の広がりや段階的な発展をたどっていることを理解します。</p> <p>○発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について, ジャカルタを事例に多面的・多角的に理解します。</p> <p>○先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景, より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解します。</p> <p>○日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題, 解決への取り組みについて, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○文化についての定義の理解をふまえ, 世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○食文化が地域によって異なる要因や, それを変容する過程について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○住居や衣服が地域によって異なる要因や, それを変容する過程について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○民族についての定義の理解をふまえ, 言語や国家との相互関係について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○世界の宗教分布の特徴とその形成過程についての理解をふまえ, 宗教を軸にした世界の文化的多様性について理解します。</p> <p>○世界各地で生じている民族問題の背景について, 国家や宗教との関わりから理解します。</p> <p>○世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について, 多面的・多角的に理解します。</p> <p>○民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について, 具体的事例をもとに理解します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>○国家の領域や国境の概念について、具体例をもとに理解します。</p> <p>○日本を含めた領土問題の発生要因への理解をふまえ、その解決策について多面的・多角的に模索します。</p> <p>○さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解します。</p> <p>○さまざまな指標によって地域を区分する方法について理解します。</p> <p>○世界の諸地域の地域的特色をとらえるための地誌的な考察方法について理解します。</p>
9	<p>第2章 現代世界の諸地域</p> <p>第1節 東アジア—項目ごとに整理して考察する—</p> <p>第2節 東南アジア—項目ごとに整理して考察する—</p> <p>第3節 南アジア—経済成長に着目する—</p> <p>第4節 西アジアと中央アジア—二つの地域を比較する—</p> <p>第5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ—二つの地域を比較する—</p> <p>第6節 ヨーロッパ—地域統合に着目する—</p>	<p>○改革開放政策に伴って急速に進む中国の工業化とそれによる影響について理解します。</p> <p>○改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について、具体的事例をもとに理解します。</p> <p>○中国国内の多様な民族構成についての理解をふまえ、経済成長に伴って変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて理解します。</p> <p>○国際社会における中国の影響力について、産業面や資源獲得競争、外交政策の面から理解します。</p> <p>○経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて理解します。</p> <p>○工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相について理解するとともに、国内の生活文化の特徴と変化の動向について理解します。</p> <p>○東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に理解します。</p> <p>○東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について理解します。</p> <p>○ASEAN の協働体制の特徴と工業化の動向について、タイとマレーシアを事例に理解します。</p> <p>○東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化していることを理解します。</p> <p>○南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展について、グローバル化に伴う経済発展との関わりから理解します。</p> <p>○経済成長や都市化に伴うインド社会の変化について、メリットとデメリットに区分しながら理解します。</p> <p>○インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について、多面的・多角的に理解します。</p> <p>○南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に理解するとともに、地域間協力の現状について、具体的事例をもとに理解します。</p> <p>○シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯をふまえ、両地域における人々の生活の特徴について、農業を軸に理解します。</p> <p>○西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に理解します。</p> <p>○西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に理解します。</p> <p>○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、生業</p>

月	単元名	学習内容
		<p>と文化を指標に理解します。</p> <p>○北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、経済、産業を指標に理解します。</p> <p>○北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて理解します。</p> <p>○ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について認識を深めます。</p> <p>○ヨーロッパにおける農業の多様性と現状についての理解をふまえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて認識を深めます。</p> <p>○ヨーロッパにおける産業の変容について、工業の多極化、サービス経済化を指標に理解します。</p> <p>○EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされている課題について理解し、地域格差の問題について認識を深めます。</p> <p>○イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題についての理解をふまえ、その克服へ向けた国家間の協力関係について模索します。</p>
10	<p>第7節 ロシア—項目ごとに整理して考察する—</p> <p>第8節 アングロアメリカ—項目ごとに整理して考察する—</p> <p>第9節 ラテンアメリカ—項目ごとに整理して考察する—</p> <p>第10節 オセアニア—項目ごとに整理して考察する—</p> <p>第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 第1節 日本の地理的諸課題を読み解く</p> <p>第2節 持続可能な国土像の探究</p>	<p>○ロシア国内の多様な民族、宗教についての認識をふまえ、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について理解します。</p> <p>○ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について理解します。</p> <p>○ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴についての理解をふまえ、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について認識を深めます。</p> <p>○アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解します。</p> <p>○アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について、歴史的背景をふまえて理解します。</p> <p>○アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について、先端技術、金融、鉱産資源の側面から理解するとともに、課題について認識を深めます。</p> <p>○アングロアメリカの鉱工業地域の変化について、先端技術産業の発展との関わりから理解します。</p> <p>○アングロアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について、多面的・多角的に理解します。</p> <p>○ラテンアメリカの文化の形成の経緯について、歴史的背景をふまえながら理解します。</p> <p>○ラテンアメリカの産業の発達の変遷について、農業、工業の両面から理解するとともに、グローバル化と地域統合が進む現状について認識を深めます。</p> <p>○ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について認識を深めるとともに、同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に理解します。</p> <p>○オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民族、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解します。</p> <p>○オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について、多面的・多角的に理解します。</p> <p>○オーストラリア、ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて、貿易と観光に着目して理解します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>○北極と南極それぞれの地理的特徴について理解するとともに、近年の動向について国際社会との関わりから認識を深めます。</p> <p>○日本の地域構造の歴史的変遷について理解するとともに、現代の地域構造の特征によって生じている地理的諸課題について認識を深めます。</p> <p>○日本の国土政策の歴史的変遷について理解するとともに、今後の国土づくりのあり方について、国内における地理的諸課題の現状をふまえて模索します。</p> <p>○日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策の探究に向けて、課題探究のプロセスを理解します。</p> <p>○日本が抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成の方策について探究します。</p>

【地理歴史】 地理総合 学習指導計画

教科書	東京書籍「地理総合」(地総 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1 年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
- ②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。
- ③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○地軸の傾きや自転・公転による影響を理解します。 ○地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考えます。 ○地図にはさまざまな種類が存在することについて理解します。 ○地球を平面の地図では正確に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考えます。 ○日本の位置と領域について理解します。 ○排他的経済水域について理解し、その重要性について考えます。 ○私たちの生活にさまざまな地図が利用されていることを理解します。 ○多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考えます。 ○地形図から読み取れることについて理解します。 ○地理院地図の特徴を理解し、紙の地形図との違いについて考察します。 ○主題図にはさまざまな表現方法があることを理解します。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けるのかを考察します。 ○地理情報システム(GIS)が幅広い分野で使われていることについて理解します。 ○GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考えます。
5	第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と	<ul style="list-style-type: none"> ○交通手段の多様性とその長所・短所について理解します。 ○交通手段の発達による生活の変化を考えます。 ○通信情報技術(ICT)の発達について理解します。 ○通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考えます。 ○国境をこえる人々の動きについて理解します。 ○どのような理由で人々がどこからどこへ移動するかを考えます。

月	単元名	学習内容
	多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の貿易とさまざまな地域経済圏について理解します。 ○国際分業と産業の変化について考えます。 ○国家間のさまざまな結び付きとその役割について理解します。 ○多極化する世界の変化について考えます。 ○地域によって文化が異なる理由について理解します。 ○文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解します。 ○世界の宗教の分布について理解します。 ○宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解します。
6	2節 生活文化と自然環境 ①地形 3節 生活文化と自然環境 ②気候	<ul style="list-style-type: none"> ○山地におけるさまざまな暮らしの工夫について理解します。 ○山地における自然的、文化的なめぐみに気づき、その利用について理解します。 ○河川がつくる平野の小地形について理解します。 ○宅地化による伝統的な土地利用の変化が、どのような影響をもたらしているかを理解します。 ○さまざまな海岸の地形とその利用について理解します。 ○海岸の地形が自然的、人為的要因によって変化していることを理解します。 ○大気の大循環によって生じる気圧帯について理解します。 ○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考えます。 ○熱帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○熱帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。 ○乾燥帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○乾燥帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。 ○温帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○温帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。 ○亜寒帯・寒帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○亜寒帯・寒帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。
8	4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の面から、食生活の地域差について理解します。 ○社会環境の面から、農業形態の地域差について理解します。 ○食文化に多様性が生じる理由について理解します。 ○工業立地について理解します。 ○労働集約的な工業の立地が移動する理由を理解します。 ○新興工業国と先進国との工業に違いが生じる理由について理解します。 ○商業の立地の違いについて理解します。 ○インターネットの普及により、商業にどのような変化が生じたのかを理解します。 ○通信産業の発展による世界の変化、産業の情報化について理解します。

月	単元名	学習内容
		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報化社会における働き方について考えます。 ○環境問題の発生が,人間の活動によって引き起こされていることを理解します。 ○生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し,解決に向けた取り組みを考えます。 ○森林の減少や砂漠化の進行について理解します。 ○森林の減少や砂漠化が人間の活動によって引き起こされていることを理解し,改善に向けた取り組みを考えます。 ○資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解します。 ○新興国のエネルギー需要の増加を理解し,資源をめぐる対立が生じる要因を考えます。 ○エネルギー資源の種類について理解します。 ○再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し,再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を考えます。
9	<p>3節 人口問題</p> <p>4節 食料問題</p> <p>5節 居住・都市問題</p> <p>6節 民族問題</p> <p>7節 持続可能な社会の実現をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解します。 ○発展途上国が抱える人口問題を理解し,その要因・影響を考えます。 ○先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解します。 ○少子高齢化対策として先進国で行われている取り組みを理解し,その成果や課題を考えます。 ○食料問題が生じる背景について理解します。 ○食の安全に関する問題について知り,その対策について理解します。 ○発展途上国で進む都市人口の増加の背景を理解します。 ○発展途上国の大都市における生活や都市環境の変化から居住問題について理解します。 ○先進国の都市化と郊外化,そして都市再開発までの動きとそれぞれの背景について理解します。 ○先進国の居住・都市問題を郊外化や都市再開発から考えます。 ○ヨーロッパで起こった難民危機を手がかりに,難民と民族問題について理解します。 ○難民が発生する原因や,民族問題の背景について考えます。 ○地球規模で取り組むべき課題が,相互に関連しあっていることを理解します。 ○先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し,持続可能な開発のための解決法を考えます。
10	<p>第3編 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境の特色</p> <p>2節 さまざまな自然災害と防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の地形の特徴について理解します。 ○日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解します。 ○日本の春夏秋冬それぞれの季節を特徴づける天候・気候の要因を理解します。 ○日本各地の地域ごとの気候の特徴を理解します。 ○プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解します。 ○震源の位置や土地の条件によって,引き起こされる被害の違いがあることを理解します。 ○過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながり得ることを理解しま

月	単元名	学習内容
	第2章 生活圏の調査と地域の展望	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップを利用し、身近な地域の自然災害の可能性を読み取ります。 ○日本列島において火山活動が活発な理由を理解します。 ○火山活動にともなう災害の種類を理解します。 ○火山活動が関係するさまざまなめぐみを理解します。 ○季節によって発生しやすい気象災害とその特徴について理解します。 ○季節によって発生しやすい気象災害の要因・影響について考えます。 ○大雨や集中豪雨によって発生する洪水災害は、どのように発生するのか、その原因を理解します。 ○土砂災害の発生のメカニズムを理解し、どのような場所が被害を受けやすいかを考えます。 ○都市型災害にはどのようなものがあるかを理解します。 ○そのうえで、都市型災害の要因・影響を考え、都市型災害が発生した際にどのような行動をとるべきかを考えます。 ○大規模災害への対応について、自助・共助・公助の視点からどのようなことが行われているか理解します。 ○これまでの災害の教訓を生かし、特に、自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきかを考えます。 ○身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから理解します。 ○身近な地域の課題に対して異なるスケールを織り交ぜて考察し、調査テーマを設定します。 ○身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解します。 ○身近な地域で生じている課題の要因をさまざまな角度から分析し、仮説を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ○野外調査の目的に応じた方法を理解します。 ○野外調査を計画し、実施に向けた準備をします。 ○地域調査のまとめ方について理解します。 ○調査結果に応じた、まとめ方や発表形式を選択し、身近な地域の課題解決に向けた発表の準備を行います。

【地理歴史】 歴史総合 学習指導計画

教科書	東京書籍「新選歴史総合」 (歴総 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国	<p>○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。</p> <p>○前近代の歴史について、中学校での学習内容を振り返り、次の学習につなげる。</p> <p>○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。</p> <p>①18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。</p> <p>②産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。</p>
5	3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	<p>①国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲制と国民国家の形成を理解する。</p> <p>②帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。</p>

月	単元名	学習内容
6	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	○国際関係の緊密化, アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭, 植民地の独立, 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化, 生活様式の変化などに関する資料を活用し, 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し, 問いを表現する。
8	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	①経済危機の背景と影響, 国際秩序や政治体制の変化などに着目して, 各国の世界恐慌への対応の特徴, 国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 国際協調体制の動揺を理解する。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響, 第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して, 第二次世界大戦の性格と惨禍, 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活, 日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ○自由・制限, 平等・格差, 開発・保全, 統合・分化, 対立・協調などの観点を基に主題を設定し, 事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。
9	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	○冷戦と国際関係, 人と資本の移動, 高度情報通信, 食料と人口, 資源・エネルギーと地球環境, 感染症, 多様な人々の共存などに関する資料を活用し, グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し, 問いを表現する。 ①地域紛争の背景や影響, 冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して, 地域紛争と冷戦の関係, 第三世界の国々の経済政策の特徴, 欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 国際政治の変容を理解する。 ②冷戦が各国経済に及ぼした影響, 地域連携の背景と影響, 日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して, 冷戦下の世界経済や地域連携の特徴, 経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。
10	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	①アジア諸地域の経済発展の背景, 経済の自由化や技術革新の影響, 資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して, 市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 市場経済の変容と課題を理解する。 ②冷戦の変容と終結の背景, 民主化や地域統合の背景と影響, 地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して, 冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ○科目のまとめとして, 現代的な諸課題に関する主題を設定し, 事象の背景や原因, 結果や影響などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現することを通して, 歴史的経緯を踏まえて, 持続可能な社会に向けて, 現代的な諸課題の展望を探究する。

【公民】公共 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「公共」(公共 701), 「公共ワークノート」(以上東京書籍)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
- ②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。
- ③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1部「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間	<p>○青年期の特徴や発達課題としてのアイデンティティの確立の理解を手がかりに、青年期に生きる自己形成の課題について考察します。</p> <p>○現代社会で生きる上で何が課題なのか、現代社会の特質やキャリア開発の意義、社会参画を通じて育てるシティズンシップの意義などについて理解します。</p> <p>○キャリア開発や社会参画の視点から、青年期に生きる自己形成の課題について考察します。</p> <p>○自由についてのカントの道徳法則と人格、J.S.ミルの自由についての考え方の理解を基に、人間を「個人」として尊重することの意味について多面的・多角的に考察します。</p> <p>○アーレントやハーバーマス、和辻哲郎の思想の理解を手がかりに、社会的な存在としての人間のあり方及び公共空間について考察します。</p> <p>○丸山真男の考え方、「公」と「私」の捉え方などを手がかりに、ものの捉え方や考え方が伝統・文化と深くかかわっていることを理解し、そこにおける課題について考察します。</p>
5	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理	<p>○行為選択の理由付けについて、目的論と義務論の考え方があることを理解します。</p> <p>○目的論に関して、帰結主義による功利主義と徳倫理学の主な考え方を理解します。</p> <p>○これらの先人の思想を手がかりに、思考実験を用いて、課題解決の方法について考察し議論します。</p> <p>○義務論について、カントの道徳法則や自律の意味について理解します。</p> <p>○社会的な不平等の是正について、ロールズの公正としての正義の考え方やセンの潜在能力という考え方を理解します。</p> <p>○これらの先人の思想を手がかりに、思考実験を用いて、課題解決の方法について考察し議論します。</p> <p>○生命科学の進歩がもたらしたエンハンスメントとその倫理的課題について</p>

月	単元名	学習内容
		<p>て理解します。</p> <p>○功利主義と義務論の考え方を手がかりに、エンハンスメントについて考察し議論します。</p> <p>○人間の活動の急速な拡大がもたらしている環境問題にかかわる思想や環境倫理について理解します。</p> <p>○功利主義と義務論の考え方を手がかりに、環境にかかわる倫理的課題について考察し議論します。</p>
6	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	<p>○社会における利害の調整のしくみとしての市場の働きと国家の役割、及びそれぞれの課題について理解します。</p> <p>○社会における意見や利害の調整、意思決定における民主主義の意義、それらの課題について理解します。</p> <p>○法の支配や近代立憲主義の意義について、歴史的背景もふまえながら理解します。</p> <p>○立憲主義と民主主義の緊張関係の意味について考察します。</p> <p>○公共的な空間における基本的原理の一つである、人間の尊厳と平等について、その意義、歴史的展開、現代の動向について理解します。</p>
7	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	<p>○民意を反映した政治を実現するための現状と課題について、世論調査、投票率、世論調査と選挙結果の関連から理解します。</p> <p>○国民投票のメリットとデメリットについて、<多数決>と<熟議>の二つの視点を手がかりに、多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○政治の働き、民主主義の具体的な姿について理解するとともに、現在の民主主義の課題について考察します。</p> <p>○地方自治の原則としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の形態と意義について理解するとともに、地方自治の課題について考察します。</p> <p>○三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、実際の政治事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○政治のしくみと制度を前提として展開される実際の政治の運営の現状と課題について考察します。</p> <p>○内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革について、実際の政治事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○国会を基盤に行政権を行使する内閣と行政組織、行政権が肥大化した今日の行政の課題について考察します。</p> <p>○政治参加のさまざまな方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題について、実際の事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○有権者の意思をよりよく反映するという視点から、日本の選挙制度について考察します。</p> <p>○民主政治における政党の役割、日本の政党政治、政治に影響を及ぼそうとする利益集団、政治資金にかかわる課題などについて理解します。</p> <p>○民主政治における政党や利益集団の役割、政治資金にかかわる課題について考察します。</p> <p>○民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて理解します。</p> <p>○世論形成に及ぼすメディアの役割、正しい情報に基づく合理的な判断の重要性について考察します。</p>
9	第2章 法の働きと私たち	<p>○法や規範の意義や役割を考えるために、「観光地での食べ歩き」に関する法規制の事例や海外の事例を理解します。</p> <p>○観光地での食べ歩きの法規制について、多面的・多角的に考察し議論します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>○道徳を含む社会規範における法の特色, 法の役割, 法の区分とそれぞれの特色について理解します。</p> <p>○法の性格や役割, 法の分類, 法の成立の歴史や対象などによって区分されることについて考察します。</p> <p>○法案の作成と提出, 民事裁判と刑事裁判, 裁判における法の適用, 法の解釈の意味などについて理解します。</p> <p>○民事裁判, 刑事裁判の手続きの特色, 法の適用と解釈, 市民にも求められるリーガルマインドの意義について考察します。</p> <p>○市民生活における私法の役割と意義に関連して, インターネットによる契約の特性や転売について理解します。</p> <p>○転売仲介サイトで不正なチケットが届いた場合の対処について, 多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○私法の性格, 私法の三つの原則, 過失責任の原則などについて理解します。</p> <p>○私法の三つの原則の意義, 公共の福祉とのかかわり, 過失責任の原則の意義について考察します。</p> <p>○契約自由の原則, 契約の種類, 契約自由の原則の修正などについて理解します。</p> <p>○契約の種類とその特色, 契約自由の修正が必要な理由について考察します。</p> <p>○消費者契約の特色, 消費者法制と消費者の権利, 消費者主権と消費者市民社会形成などについて理解します。</p> <p>○消費者契約や消費者法制が, 消費者の権利とその尊重, 自立支援をめぐっていることについて具体的な例をとおして考察します。</p> <p>○裁判員と死刑制度, 死刑制度の合憲性と世論, 国際社会における死刑制度について理解します。</p> <p>○裁判員として死刑の判断を下すことの是非について, 多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○司法権とその独立, 裁判制度のしくみ, 違憲審査権について理解します。</p> <p>○司法権の独立, 三審制, 違憲審査権の意義について考察します。</p> <p>○刑事司法のしくみや原則, 刑事司法の課題, 裁判員制度や検察審査会制度について理解します。</p> <p>○刑事司法の課題や司法への民意の反映の意義と課題について考察します。</p>
10	<p>第3章 経済社会で生きる私たち</p> <p>4章 現代の日本の課題の探究</p>	<p>○市場を公正で効率的に働かせるための規制に関連して, タクシー事業の現状について理解します。</p> <p>○タクシー事業の規制のあり方について, 多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○経済活動の意義, 経済主体と経済循環, グローバル化のなかの経済活動の動きについて, 実際の経済事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○経済循環について, 例えば「家計」を中心にして, 「政府」「企業」との関係性を説明できるようにします。</p> <p>○市場経済における価格の働き, 市場の失敗と政府の役割について, 実際の経済事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○市場メカニズムの意義と限界, 政府の役割が求められることとの関係について考察します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>○経済の指標の計算方法と意味, 経済成長とその要因, 景気変動と物価について, 実際の経済事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○景気変動や物価の変動, インフレーションなどが人々の生活にどのように影響を及ぼすか考察します。</p> <p>○起業家にとっての資金調達と直接金融, 間接金融, クラウドファンディングなどの新たな資金調達について理解します。</p> <p>○起業家は資金提供者に対してどのような情報を発信すべきか, 多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○貨幣の役割と通貨制度, 直接金融と間接金融, 金融システム, 金融市場と金利の動きについて, 実際の経済事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○金融と金融システムが日々の生活と密接にかかわっていることに気付きます。</p> <p>○中央銀行の役割, 中央銀行の行う金融政策, 金融の自由化と金融商品の多様化について, 実際の経済事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○金融政策の近年の動向, 金融の自由化と金融商品の多様化にともなうどのような課題があるか考察します。</p>
11	4章 現代の日本の課題の探究	<p>○諸外国と比べた日本の財政規模, 財政危機の原因について, 資料を手がかりに理解します。</p> <p>○財政の課題を解決し持続可能な財政とするために, 多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○財政の三つの機能, 財政政策, 財政のしくみや租税法主義などについて, 実際の事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○財政と財政政策を通じて, 経済政策や福祉政策その他の政策が行われていることを理解します。</p> <p>○租税の分類, 課税の原則, 国債の役割, 財政問題と財政危機について, 実際の事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○財政問題については, 資料を読み取りながら問題解決の方向性について考察します。</p> <p>○社会保障の意義と歴史, 日本の社会保障制度について, 実生活とのかかわりも含めて理解します。</p> <p>○社会保障制度の意義について, 多面的・多角的に考察します。</p> <p>○少子高齢化の進む日本の現状, 社会保障の財源確保, 社会保障と経済の活性化とのかかわりなどについて理解します。</p> <p>○少子高齢化の進展のなかで, 今後の社会保障制度をどのように展望するか諸外国の例も参考に考えます。</p>
12	<p>第4章 私たちの職業生活</p> <p>第5章 国際社会のなかで生きる私たち</p> <p>第3部 持続可能な社会づくりに参画するために</p>	<p>○産業革命の変遷と日本がめざす新しい社会「Society5.0」について理解します。</p> <p>○技術革新が進むなかでの職業選択について, 多面的・多角的に考察します。</p> <p>○働くことの意義, 産業社会の発達と職業の変化, 労働市場の役割などについて, 実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解します。</p> <p>○技術革新の進展のなかで, 今後の職業や労働がどのように変化していくのか, そこにおける課題について考察します。</p> <p>○職業選択のポイント, 多様化するキャリア選択, キャリア形成の課題について, 実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解します。</p> <p>○職業選択の機会の多様化とこれからのキャリア形成の課題について考</p>

月	単元名	学習内容
		<p>察します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○労働条件の基準を定める法令が存在するものの、「過労死」や「ブラック企業」が問題になっている状況を理解します。 ○「過労死」をなくす対策について、多面的・多角的に考察し議論します。 ○資本主義社会における労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、労働条件改善に向けた課題について、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解します。 ○労働契約の特性をふまえて、労働者の権利保障が必要であることについて考察します。 ○雇用環境の変化、現代のさまざまな労働問題、働きやすい労働環境について、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解します。 ○仕事と家庭生活の両立、男女格差の解消、安定した雇用などにかかわる課題とその解決の方向性について考察します。 ○有限な資源を将来にわたってどのようなルールの下で維持・管理するのか、漁業をめぐる国際社会の課題を理解します。 ○漁業資源の国際的な管理のあり方について、多面的・多角的に考察し議論します。 ○国家間の利害が錯綜する課題解決としてのルールや国際協力を第5章で学ぶ他の課題についても生かせるようにします。 ○国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象と関連させながら理解します。 ○国際社会において国家間のさまざまな問題が生じる背景と外交や国際法の意義について多面的・多角的に考察します。 ○集団安全保障としての国際連盟、国際連合の成立とそのしくみ、国際連合における安全保障、国際連合のさまざまな役割と課題について、実際の国際的な事象と関連させながら理解します。 ○国連の安全保障に果たす意義と課題について考察します。 ○核兵器をめぐる世界の動きを、核拡散の現状、国連における核兵器禁止条約、INF 全廃条約の失効などから理解します。 ○核軍縮が進まない理由について、多面的・多角的に考察し議論します。 ○平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策について、実際の事象とも関連させながら理解します。 ○冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、実際の事象とも関連させながら理解します。 ○日本の安全保障政策の変化の背景にある国際関係について考察するとともに、今後の安全保障の課題について追究します。 ○主権国家内部で起こる紛争と人権侵害について、ルワンダ内戦、コソボ紛争を例に理解します。 ○人権保護のための他国や国際機関の武力介入について、多面的・多角的に考察し議論します。 ○現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題について理解します。 ○紛争や難民問題の解決に向けて国際機関やNGOなどの取り組みが求められていることを理解します。 ○平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の立場と役割について、実際の事象とも関連させながら理解します。 ○平和憲法をもつ日本として、国際平和に向けてどのような姿勢で何をなすべきか、多面的・多角的に考察し議論します。

月	単元名	学習内容
		<p>○拡大するサービス貿易,「プラットフォーム」の国境をこえた展開を例に経済のグローバル化の現状と課題について理解します。</p> <p>○「プラットフォーム」の進出にともなう課題について,多面的・多角的に考察し議論します。</p> <p>○自由貿易と保護貿易,自由貿易の推進に向けた体制,国際収支統計の意味について,実際の経済的事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○リカードの比較生産費説の概要,国際収支統計からわかる経済取引の状況について理解します。</p> <p>○為替のしくみと外国為替市場,国際通貨制度と其の変化,国際金融の動向について,実際の経済的事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○為替相場の変動が貿易取引や金融の動きにも影響を及ぼすことを理解します。</p> <p>○現在の国際経済秩序と動き,地域統合の歴史と現在,台頭する新興国の動きなどについて,実際の事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○国際経済の秩序や動きは,経済だけでなく政治的な要因も含めて,さまざまな関係のなかで展開していることを理解します。</p> <p>○南北問題の背景と推移,人口・食料問題,格差の是正に向けた取り組みについて,実際の事象とも関連させながら理解します。</p> <p>○構造的な問題としての南北問題,人口・食料問題の解決には,どのような取り組みが考えられるか考察し議論します。</p> <p>○現代の諸課題について,探究的な課題を設定し,課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりします。</p> <p>○探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりします。</p>

【公民】倫理 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「倫理」(倫理 701),	単位数	4単位
	「要点マスター倫理 整理と演習」 (以上, 東京書籍)	学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

①	<p>「知識及び技能」に関わる目標 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにします。</p>
②	<p>「思考力、判断力、表現力等」に関わる目標 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養います。</p>
③	<p>「学びに向かう力、人間性等」に関わる目標 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めます。</p>

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き 第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想	<p>○人間の定義について考えた上で、パスカルの言葉を手掛かりに「考えること」の意義について考察します。</p> <p>○「公共」の学習内容や、自己と他の青年がおかれた現在の状況をふまえ、人生における青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について考察します。</p> <p>○知覚、学習、記憶、推論、問題解決という、人間の知的な活動の特徴について理解することを通じて、他者と共によりよく生きる意思決定のあり方について考察し、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○感情の生起や動機づけに関する心理学の考え方を理解し、人間の個性について類型論と特性論を中心に理解することを通じて、他者と共によりよく生きることができるよう、自己や他者の個性について考察し、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○青年期までの発達と青年期以降の発達について、心理学の考え方を理解し、人間の心の発達がどのようにして他者との相互作用の中で育っていくのかについて考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○第1章の学習にもとづいて、自分自身の性格について理解し、人間の心の働きについて自分自身の性格の形成と関連づけて考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って、「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索します。</p> <p>○ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間と</p>

月	単元名	学習内容
		<p>の関わりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○徳, 真理, 正義, 義務, 幸福などに着目して, ソフィストの活動や思想の特徴, ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方生き方について思索します。</p> <p>○真理, 存在, 善, 正義, 愛, 美, 徳, 義務などに着目して, プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○自然, 真理, 存在, 幸福, 徳, 善, 正義, 義務, 愛などに着目して, アリストテレスの自然観, 倫理思想, 社会観, 政治論などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p>
5	3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	<p>○幸福, 愛, 徳, 善, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, 人生における宗教の意義や, 宗教が人間や社会に与えた影響について, 先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 愛, 善, 正義, 義務, 真理などに着目して, イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて, ギリシャ思想における愛の思想と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 愛, 徳, 善, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, キリスト教の成立と発展についての歴史的理解に基づいて, パウロの思想や教父哲学, スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○イスラームの誕生について, ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福, 善, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, 『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について, 歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福, 善, 正義, 義務などに着目して, 現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, 仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴, ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>す。</p> <p>○幸福,愛,善,正義,義務,真理,存在などに着目して,ブッダの説いた苦の認識や縁起の法,慈悲の実践について多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○部派仏教や大乘仏教の成立,仏教の伝播について,歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福,愛,善,正義,義務,真理,存在などに着目して,部派仏教の特徴や,大乘仏教の特徴・諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○諸子百家の代表的な思想について,歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福,愛,徳,善,正義,義務,真理などに着目して,孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福,愛,徳,善,正義,義務,真理,存在などに着目して,孟子や荀子,韓非子,朱子学と陽明学の思想について多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福,徳,善,正義,義務,真理,存在などに着目して,老子や荘子の思想や,道家の思想の特徴について多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福,愛,徳,真理,存在などに着目して,美を求める心や,それが人生を豊かにするものであること,芸術とは何か,芸術作品と鑑賞者の関係について,芸術家の考え方や生き方,作品を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福,愛,徳,真理,存在などに着目して,芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて,多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○第2章の学習にもとづいて,幸福な人生のあり方について多面的・多角的に考察することを通じて,豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○第2章の学習にもとづいて,愛とは何かについて多面的・多角的に考察することを通じて,豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p>
6 7	<p>第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ</p> <p>1節 近代と人間尊重の精神</p> <p>2節 近代思想の展開</p> <p>3節 人格の尊厳と人倫の思想</p> <p>4節 社会変革の思想</p>	<p>○西洋における近代化の特徴について,現代に通じる人間尊重の精神という観点から,歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福,自由,正義,義務,真理,存在などに着目して,現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革,近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福,真理,存在などに着目して,現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想について,両者の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて,人間としての在り方生き方や社会の在り方,世界の在り方について思索します。</p> <p>○真理,存在などに着目して,経験論と合理論の代表的な思想について</p>

月	単元名	学習内容
		<p>多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 自由, 正義, 義務などに着目して, 現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想, 啓蒙主義に関する代表的な思想について, ホッブズ, ロック, ルソーの思想の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 愛, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, カントの批判哲学, 認識論, 道徳思想, 人格の尊厳の思想, 理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 愛, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, ヘーゲルの弁証法, 歴史観, 自由と人倫の思想, 社会や国家の考え方について, カントの自由や道徳に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 自由, 正義, 義務などに着目して, アダム・スミス, ベンサム, J.S.ミルの倫理思想について, 現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 自由, 正義, 義務, 存在などに着目して, 現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について, 現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 正義, 真理, 存在などに着目して, 現代の価値観に影響を与えた実証主義や進化論の考え方, プラグマティズムの思想について, 現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p>
8	<p>5節 理性への疑念 6節 人間観・言語観の問 いなおし 7節 他者・自然とのか かわり</p> <p>第4章 国際社会に生きる 日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土</p>	<p>○幸福, 愛, 自由, 義務, 真理, 存在などに着目して, キルケゴール, ニーチェ, フロイトの思想を手がかりに, 近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 愛, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, ハイデッガー, ヤスパーズ, サルトルの思想や, 現象学, 実存主義の考え方を手がかりに, 従来の人間観や世界観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, ソシュール, レヴィ=ストロース, フーコーの思想を手がかりに, 従来の人間観や世界観, 言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, ドゥルーズ, デリダ, ポストモダンの思想を手がかりに, 従来の人間観や世界観, 言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福, 愛, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, 他者とのか</p>

月	単元名	学習内容
		<p>かわりや言語活動について、レヴィナス、ベンヤミン、アーレント、フランクフルト学派、ウイトゲンシュタインの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、民主社会の成熟や公共性の問題について、ロールズやセン、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○幸福、愛、善、自由、正義、義務などに着目して、マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに人間の相互依存性やボランティアの意義について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について、自らの問題として思索します。</p> <p>○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ゲーテ、シュヴァイツァー、ベルクソン、その他の人物や宗教の自然観を手がかりに、人間が自然をどのようにとらえ、どのように自然とかがかわるべきか、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○第3章の学習にもとづいて、「自由に生きること」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○第2章や第3章の学習にもとづいて、「なぜ、正しく生きべきなのか」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○第2章や第3章の学習にもとづいて、「世界の始まり」や「真理」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○日本人の伝統的な自然観の特質について、「おのずから」の働きや、『古事記』・和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索します。</p> <p>○日本人の伝統的な宗教観の特質について、八百万神や「神々の共存」、「重層的文化」などの考え方に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本人の伝統的な倫理観の特質について、清き明き心、正直、誠、いさぎよさ、やさしさなどの考え方に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p>
9	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	<p>○日本の古代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の中世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、浄土信仰、禅、『法華経』信仰</p>

月	単元名	学習内容
		<p>を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の伝統文化に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸道・文化、評論などを手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学が見出した人間像や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近世史、幕末史に関する基本的な理解にもとづき、近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について、西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p>
10	<p>7節 国際社会に生きる日本人の自覚</p> <p>第2編 現代の諸課題と倫理</p>	<p>○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、キリスト教を主体的に受容し広めた近代の人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた近代の人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近代史や文学史に関する基本的な理解にもとづき、近代的な自己の在り方について思索した近代の文学者などの思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○第二次世界大戦後の日本の社会状況に関する基本的な理解にもとづき、第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり、日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら、現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、これまでの学習をふり返りながら、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p> <p>○第4章の学習にもとづいて、日本人の心情をめぐって、別れ際の心の構えや別れ言葉に着目して、「おのずから」や「死」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。</p> <p>○第1編で学習した事項を基盤に、生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、「生きることの意義」について思索できるようにします。</p> <p>○第1編で学習した事項を基盤に、人間の生命が自然の生態系の中で、植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、調和的な共存関係が大切であることについて思索できるようにします。</p> <p>○第1編で学習した事項を基盤に、近年の飛躍的な情報技術の進展を踏まえ、AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について思索できるようにします。</p> <p>○第1編で学習した事項を基盤に、多様性を前提として、協働、ケア、共生の視点から、だれにとっても住みやすい社会について思索できるようにします。</p> <p>○第1編で学習した事項を基盤に、文化や宗教が過去を継承する人類の知的遺産であることを踏まえ、それらを尊重し、異なる文化や宗教をもつ人々を理解し、共生に向けて思索できるようにします。</p> <p>○第1編で学習した事項を基盤に、人類全体の福祉の向上という視点から、平和な世界の実現について、考察、構想できるようにします。</p>

【公民】政治経済 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「政治・経済」(政経 701), 「要点マスター政治・経済」(以上, 東京書籍)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- 1 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。
- 2 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことへの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。
- 3 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ○政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解します。 ○民主政治にとって権力分立がなぜ重要か考察します。 ○法の意義や、「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解します。 ○私法に関する基本的な考え方を踏まえ、法が自分の生活にどのように関係しているか考察します。 ○成年年齢が変更された背景について理解します。 ○成年を迎えたらどのような点に留意する必要があるか考察します。 ○基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解します。 ○人権の国際化のなかで、日本の人権保障はどうあるべきか考察します。 ○ファシズムが生み出された背景や、多数決原理にもとづく民主政治の課題について理解します。 ○よりよい民主政治のあり方について考察します。 ○議院内閣制と大統領制の違いや、旧社会主義圏や旧植民地諸国における政治体制について理解します。 ○民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映されているか考察します。 ○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。 ○憲法改正に関する議論について考察します。 ○基本的人権と自分の生活との関係、「新しい人権」の確立が求められている背景について理解します。 ○「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか考察します。 ○憲法第9条をめぐる意見の対立や、日本の安全保障体制の変化につ

月	単元名	学習内容
		<p>いて理解します。</p> <p>○平和主義の下、今後の日本の安全保障はどうあるべきか考察します。</p>
5	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	<p>○議会制民主主義において政党が必要な理由や、戦後日本の政党政治の変化について理解します。</p> <p>○現代の日本の政党政治にはどのような課題があるか考察します。</p> <p>○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解します。</p> <p>○日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか考察します。</p> <p>○世論の形成過程、世論の政治への反映のしかた、NPOやインターネットが政治に与える影響について理解します。</p> <p>○日本の政治における争点や政治的意見を踏まえ、自分が賛同する政治的立場について考察します。</p> <p>○選挙権年齢引き下げの背景や選挙権を行使する意味について理解します。</p> <p>○選挙権の行使に向けて、政党や候補者の主張をどのように検討すべきか考察します。</p>
6 7	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	<p>○希少性やトレードオフなど経済活動の基本原則について理解します。</p> <p>○経済体制にはどのようなものがあるか考察します。</p> <p>○資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解します。</p> <p>○今日の資本主義経済にはどのような課題があるか考察します。</p> <p>○家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解します。</p> <p>○なぜ経済は循環するのか考察します。</p> <p>○企業の活動や、株式会社の特徴について理解します。</p> <p>○現代の企業に求められているものは何か考察します。</p> <p>○市場における価格の役割や、独占禁止法による規制の必要性について理解します。</p> <p>○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察します。</p> <p>○経済活動の規模や変化をとらえる指標や、景気変動が起こる理由について理解します。</p> <p>○インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか考察します。</p> <p>○金融の役割や、金融政策の手段について理解します。</p> <p>○なぜ金融の自由化が進められ、それは日本経済にどのような影響を与えたか考察します。</p> <p>○自分のライフプランを立て、それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か理解します。</p> <p>○金融商品を購入する際にリスクとリターンのどちらを重視すべきか考察します。</p> <p>○財政の役割や、公平な税制のあり方について理解します。</p> <p>○日本の財政の課題を抱える課題や、持続可能な財政および租税のあり方について考察します。</p>
8	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	<p>○戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。</p> <p>○バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について考察します。</p> <p>○バブル経済崩壊後の日本経済の状況や、2000年代以降に試みられた経済改革が日本社会に与えた影響について理解します。</p> <p>○日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか考察します。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>○公害問題が発生する理由や、公害を防止する方法について理解します。</p> <p>○持続可能な社会の形成のために自分たちにできることは何か考察します。</p> <p>○戦後日本の農業政策の展開や、林業や漁業が抱える課題について理解します。</p> <p>○これからの日本の農業と食料はどうあるべきか考察します。</p> <p>○日本経済における中小企業の地位や、日本の中小企業が抱える課題について理解します。</p> <p>○日本経済の活性化のためにどのような中小企業政策が必要か考察します。</p> <p>○情報化の進展が社会にもたらしているイノベーションや、「第四次産業革命」が社会生活にもたらす変化について理解します。</p> <p>○デジタル社会においてどのようなことに注意すべきか考察します。</p> <p>○消費者問題が発生する理由や、消費者保護のために行われている施策について理解します。</p> <p>○消費社会において、自分たち消費者にはどのような知識や行動が求められるか考察します。</p> <p>○契約を結ぶ際に気をつけるべきことや、消費者トラブルにあった際の対応について理解します。</p> <p>○持続可能な社会の形成のために消費生活でできることは何か考察します。</p> <p>○労働問題が発生する理由や、憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解します。</p> <p>○雇用・労働問題を取り巻く状況と、これからの日本の雇用のあり方について考察します。</p> <p>○自分に合った働き方を実現するためにはどのようなことに考慮すべきか理解します。</p> <p>○社会全体の労働条件を向上させるにはどうすればよいか考察します。</p> <p>○社会保障制度の発展・変化や、日本の社会保障制度の特徴と課題について理解します。</p> <p>○少子高齢社会においてどのような福祉社会を築いていけばよいか考察します。</p>
9	<p>第3章 現代日本の諸課題</p> <p>第2編 グローバル化する国際社会</p> <p>第1章 現代の国際政治</p> <p>1節 国際政治のしくみ</p> <p>2節 複雑化する国際政治と日本</p>	<p>○日本の子育て支援の現状について理解します。</p> <p>○少子高齢社会における子育て支援はどうあるべきか考察し、表現します。</p> <p>○地域社会の現状について理解します。</p> <p>○地域社会の独自性を活かしながら活性化を図るにはどうすべきか考察し、表現します。</p> <p>○労働におけるジェンダー平等の現状について理解します。</p> <p>○性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうすれば実現できるか考察し、表現します。</p> <p>○日本の中小企業の強みと課題について理解します。</p> <p>○中小企業の強みを活かすにはどうすればよいか考察し、表現します。</p> <p>○日本の財政の現状について理解します。</p> <p>○日本はどのような「福祉国家」をめざすべきか考察し、表現します。</p> <p>○日本の農業の動向について理解します。</p> <p>○農業を魅力ある産業にするにはどうすればよいか考察し、表現します。</p>

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ○日本が直面する災害とその対策の現状について理解します。 ○自分が暮らす地域の防災・減災対策はどうあるべきか考察し、表現します。 ○主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解します。 ○現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるか考察します。 ○国際社会の秩序維持の要因や、国内法と比較した国際法の特徴について理解します。 ○国際司法機関がどのような役割を果たしているか考察します。 ○集団安全保障のしくみが必要とされた背景や、平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解します。 ○国際連合が抱える課題について考察します。 ○第二次世界大戦後の国際関係や、冷戦体制の変化について理解します。 ○日本はどのようにして国際社会に復帰し、どのような立場で行動してきたか考察します。 ○冷戦終結後の国際関係の変化や、現在の国際社会が抱える課題について理解します。 ○日本は国際平和や安全保障のためにどのように行動していくべきか考察します。 ○世界で地域主義が進んでいる理由や、EU の成立過程および特徴について理解します。 ○地域主義の動きに日本はどのように関わっているか考察します。 ○核抑止体制の問題点や、軍縮をめぐる現在の動向について理解します。 ○日本は唯一の核兵器被爆国として、軍縮に向けてどのように取り組むべきか考察します。 ○近年、国境を越えたテロリズムが多発している理由について理解します。 ○地域紛争を予防し解決するためにはどうすればよいか、また日本は難民問題に対してどのように向き合うべきか考察します。 ○日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解します。 ○日本の国際協力や開発援助はどうあるべきか考察します。
10	<p>第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題</p> <p>第3章 国際社会の諸課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○貿易の意義や、国際収支の各項目に反映される経済取り引きについて理解します。 ○為替レートがどのような要因によって変動するか考察します。 ○現代の国際通貨体制の変遷や、近年経済政策の分野で各国の政策協調が必要になっている理由について理解します。 ○地域経済統合や FTA・EPA が自由貿易の進展にどのような影響を与えるか考察します。 ○南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや、新興経済諸国の現状について理解します。 ○中国の台頭によって世界経済にはどのような変化が起こっているか考察します。 ○経済のグローバル化の進展や、近年の国際金融の変化について理解します。

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ○現在の世界経済はどのような課題を抱えているか考察します。 ○地球環境問題や、地球環境問題への対応をめぐる国際社会の利害対立について理解します。 ○脱炭素社会の構築に向けて各国政府や自分にはどのような取り組みができるか考察します。 ○資源・エネルギーに関する課題や、原子力発電に関する日本および各国の政策について理解します。 ○日本のこれからのエネルギー供給はどうあるべきか考察します。 ○21 世紀の世界人口の変動予想や、貧困の発生要因について理解します。 ○持続可能な社会の形成に向けて国際社会はどのように取り組むべきか考察します。 ○日本の多文化共生をめぐる状況について理解します。 ○多文化共生社会を実現するにはどうすればよいか考察し、表現します。 ○地球温暖化対策の現状について理解します。 ○地球温暖化を食い止めるにはどうすればよいか考察し、表現します。 ○貧困と開発援助の現状について理解します。 ○貧困削減のためにはどのような開発援助が有効か考察し、表現する。 ○医療のイノベーションの現状について理解します。 ○医療のイノベーションを促すにはどうすればよいか考察し、表現します。 ○パレスチナ問題の経緯と現状について理解します。 ○パレスチナ問題を解決するために何が必要か考察し、表現します。 ○SDGs 達成に向けた取り組みの現状について理解します。 ○SDGs 達成に向けて自分たちに何ができるか考察し、表現します。

【数学】 数学 I 年間学習指導計画

教科書	新数学 I (東書 数 I 704・705)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

I 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	数の計算 1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2) 5 乗法公式	<ul style="list-style-type: none"> ・数学 I の学習を進める際に必要な既習事項を復習し、基本的な計算ができるようにする。 ・文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 ・単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、同類項、多項式の次数、n 次式など、式についての用語の意味を理解し、多項式を整理する中で、式についての見方を豊かにする。 ・多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ・指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 ・乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。
6	6 因数分解(1) 7 因数分解(2) 8 展開、因数分解のくふうと利用 2節 実数 1 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 ・$\times 2$ の係数が 1 以外の多項式を因数分解することができる。 ・式の一部を 1 つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって多項式を展開、因数分解することができる。 ・平方根について理解する。
7	2 根号を含む式の計算 3 数の分類 4 分数と小数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。 ・自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。 ・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。

月	単元名	学習内容
	2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方 6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式	<ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。また、1次方程式を利用して身近な問題を解決することができる。 ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。また、1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。
9	2章 2次関数 1節 2次関数とグラフ 1 関数 2 1次関数とそのグラフ 3 2次関数とそのグラフ 4 グラフの平行移動 5 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと2次方程式 3 2次関数のグラフと2次不等式 4 いろいろな2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する2つの変数の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。 ・具体的な事象から2次関数の概念を理解する。また、2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフを x 軸方向や y 軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。 ・2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。 ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。また、式の見方を豊かにするとともに、グラフを活用することのよさを認識する。 ・2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフと x 軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。
10	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 1 三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。
11	2 タンジェント 3 サインとコサイン 4 三角比の利用 5 三角比の相互関係 6 $90^\circ-A$ の三角比 2節 三角比の応用 1 三角形の面積 2 正弦定理 3 余弦定理 4 鈍角の三角比 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 ・サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、30°、45°、60° の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。また、三角比を利用して具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識する。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。 ・$90^\circ-A$ の三角比の値を求めることができる。 ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・余弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・座標を用いて定めることで 0° から 180° までの角に対するものに拡張された三角比を理解し、その値を求めることができる。

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ - \theta$の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も正弦定理, 余弦定理, 三角形の面積の公式が成り立つことを理解し, 図形の計量の際に有効に活用することができる。また, 三角比を空間図形の計量に活用することができる。
12	<p>4章 データの分析</p> <p>1節 データの分析</p> <p>1 データにもとづいた問題解決の進め方</p> <p>2 データの特徴の調べ方</p> <p>3 代表値</p> <p>4 四分位数と箱ひげ図</p> <p>5 分散と標準偏差</p> <p>6 相関関係</p> <p>7 相関係数</p> <p>8 データにもとづく考え方</p> <p>5章 集合と論証</p> <p>1節 集合と論証</p> <p>1 集合</p> <p>2 命題と集合</p> <p>3 命題と証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。 ・データや階級, 度数, 階級値, 度数分布表, 累積度数, ヒストグラム, 相対度数, 累積相対度数の定義や意味を理解し, 目的やデータに応じて, 度数分布表, ヒストグラムなどに表すことができる。 ・データの特徴を 1 つの数値によって表せることを理解し, それを平均値, 中央値, 最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの散らばり具合を表す四分位数, 四分位範囲の定義や意味を理解する。また, それを箱ひげ図に表すことができる。 ・分散, 標準偏差を理解し, それを求めることができる。 ・相関関係について理解する。 ・相関関係の強弱を表す相関係数について理解し, 相関の強さが表せることの有用性を認識できる。 ・仮説検定の考え方を理解するとともに, 不確実な事象の起こりやすさに着目し, 主張の妥当性について, 実験などを通して判断したり, 批判的に考察したりすることができる。 ・部分集合, 全体集合, 補集合, 共通部分, 和集合などの集合の表し方, 用語, 記号を, 図を用いて理解し, 記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また, 必要条件, 十分条件, 必要十分条件の意味を知り, さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。 ・命題の逆, 裏, 対偶について理解し, 対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び, 論理的な思考力を養う。

【数学】数学 A 年間学習指導計画

教科書	新数学A (東書 数A704・705)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次 (定型履修の場合)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数	・部分集合, 全体集合, 補集合, 共通部分, 和集合などの集合の表し方, 用語, 記号を, 図を用いて理解し, 記号を使って表すことができる。 ・補集合, 和集合について, 集合の要素の個数を求めることができる。
6	3 個数の数え方 4 和の法則と積の法則 5 順列 6 順列の利用 7 いろいろな順列 8 組合せ 9 組合せの利用	・具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。 ・和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し, 場合の数を効率よく求めることができる。 ・樹形図を利用して順列の意味を理解し, その総数を求めることができる。 順列の考え方をいろいろな場面に利用して, 条件のついた順列の総数を求めることができる。 ・重複順列, 円順列の意味を理解し, その総数を求めることができる。 ・組合せの意味や性質を理解し, その総数を求めることができる。 ・組合せの考え方をいろいろな場面に利用して, 組合せの総数を求めることができる。
7	2節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算 3 排反事象の確率 4 余事象の確率 5 独立な試行の確率 6 反復試行の確率 7 条件つき確率	・試行と事象, 事象の確率について学び, 確率の意味を知り, 基本的な確率を求めることができる。 ・場合の数をもとに, 確率を求めることができる。 ・確率の加法定理を理解し, 排反事象の確率を求めることができる。 ・余事象の確率を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し, 簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 ・反復試行について理解し, 簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。 ・条件つき確率の意味を理解する。また, 確率の乗法定理を理解し, 活用できる。

月	単元名	学習内容
10	2章 図形の性質 2節 三角形の性質 1 三角形と比 2 三角形の重心 3 三角形の外心・内心 4 角の二等分線と線分の比 3節 円の性質 1 円の接線 2 円周角の定理 3 円に内接する四角形 4 接線と弦のつくる角 5 方べきの定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ・三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。 ・円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 ・円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を理解し、4 点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 ・円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 ・接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 ・円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めることができる。
11	3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 1 数を表す 2 数の表し方のしくみ 3 2進法 4 位置を表す	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。 ・10 進法、2 進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 ・2 進法と 10 進法の変換を行うことや 2 進法と 10 進法を対比してみると、記数法に対する理解を深めることができる。また、2 進法で表された数の計算ができる。 ・平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また、その考えを空間内の座標へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。
12	2節 数のつくり方を調べる 1 約数と倍数 2 最大公約数と最小公倍数 3 ユークリッドの互除法	<ul style="list-style-type: none"> ・約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 ・素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて 2 つの正の整数の最大公約数を求めることができる。

【数学】 数学Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	新数学Ⅱ (東書 数Ⅱ717・718)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次 (選択科目)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 1 3次の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 分数式のかけ算とわり算 4 分数式のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。 ・パスカルの三角形について考察し、二項定理を利用して式を展開することができる。 ・分数式とその約分、わり算、かけ算について理解し、その計算ができる。 ・分数式とその通分、たし算、ひき算について理解し、その計算ができる。
5	2節 2次方程式 1 複素数 2 複素数の計算 3 2次方程式の解 4 解と係数の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることに興味をもち、従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解する。 ・複素数の演算や共役な複素数について理解する。 ・すべての2次方程式を解くことができる。また、2次方程式の判別式について理解し、解を判別することができる。 ・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。
6	3節 高次方程式 1 多項式のわり算 2 因数定理 3 高次方程式 4節 式と証明 1 等式の証明 2 不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。 ・剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に関してそれらを利用することができる。 ・高次方程式について理解し、因数分解、因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。また、身近な問題を解決することに、高次方程式を活用することができる。 ・左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。

月	単元名	学習内容
	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標	<ul style="list-style-type: none"> ・左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。 ・数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。 ・座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる。
7	3 直線の方程式 4 2直線の関係 2節 円の方程式 1 円の方程式 2 円と直線 3節 軌跡と領域 1 軌跡 2 不等式の表す領域 3 連立不等式の表す領域 3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角 2 三角関数 3 三角関数の相互関係 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点を与えられたときの直線の方程式を求めることができる。 ・2直線の交点の座標が方程式を連立して求められることを理解する。また、平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。 ・与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。 ・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡を求めることができる。 ・不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。 ・連立不等式が表す領域を図示することができる。 ・角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。 ・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 ・一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。 ・三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。 ・三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。
10	2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 弧度法 4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 1 整数の指数 2 累乗根 3 分数の指数 4 指数関数とそのグラフ 5 指数関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 ・加法定理の簡単な応用として2倍角の公式を導き利用できる。また、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する。 ・弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。 ・指数の範囲を整数全体に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。 ・累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。 ・指数の範囲を分数に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。 ・指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。 ・身近な問題を解決することに、指数関数を活用することができる。

月	単元名	学習内容
11	2節 対数関数 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数とそのグラフ 4 常用対数 5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 導関数の計算 5 接線	<ul style="list-style-type: none"> ・対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。 ・対数の性質を理解し、それを用いて対数の計算をすることができる。 ・対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。 ・常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて整数の累乗の桁数を求めることができる。 ・関数の平均変化率が曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。 ・極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・導関数の意味を理解する。 ・簡単な導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。 ・曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。また、与えられた曲線の方程式から曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。
12	2節 導関数の応用 1 関数の増加・減少 2 関数の極大・極小 3 関数の最大・最小 3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 面積	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。 ・関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。 ・ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。 ・不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。 ・定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。

【数学】 数学 B 年間学習指導計画

教科書	数学B Standard (東書 数B702)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次 (選択履修)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	1章 数列 章導入 Introduction 1節 数列 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和	<ul style="list-style-type: none"> ・受け取る米粒の数は?の考察を通して, 数列について興味・関心を高める。 ・数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解する。 ・等差数列について関心を深め, 一般項 a_n を初項 a, 公差 d を使って表せることを理解する。 ・等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち, それが n を用いて表せることを理解する。 ・等比数列について関心を深め, 一般項 a_n を初項 a, 公比 r を使って表せることを理解する。 ・等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち, それが n を用いて表せることを理解する。
6	2節 いろいろな数列 1 数列の和と記号 Σ 2 いろいろな数列 3節 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・記号Σの意味と性質を理解し, 自然数の累乗の和をΣを用いて表すことができる。 ・階差数列や数列の和から一般項を求めたり, 群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を求めたりすることができる。
7	3節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の帰納的定義について理解し, 漸化式を扱うことができる。 ・数学的帰納法について理解し, 等式などの証明に利用できる。 ・“階差を利用した数列の和”の問題について, 本章で学んだことを活用して解決に取り組み, 問題解決力を高める。
9	2章 統計的な推測 章導入 Introduction 1節 標本調査 1 母集団と標本	<ul style="list-style-type: none"> ・10回中6回「当たり」は珍しい?の考察を通して, 統計的な推測について興味・関心を高める。 ・標本調査の意義を認識し, 標本の抽出法や用語などを理解する。 確率変数, 確率分布の意味を理解し, 確率分布を求めることができる。ま

月	単元名	学習内容
	2節 確率分布 1 確率分布	た、確率変数の平均と分散の意味を理解し、確率変数 X の平均(期待値)や分散、標準偏差を求めることができる。
10	2 確率変数の平均と分散の性質 3 確率変数の和と積 4 二項分布	<ul style="list-style-type: none"> ・確率変数 $aX+b$ の平均や分散、標準偏差について理解し、それらを求めることができる。 ・確率変数の和の平均や独立な確率変数の積の平均、和の分散について理解し、それらを求めることができる。 ・二項分布の意味を理解する。また、二項分布の確率や平均、分散及び標準偏差を求めることができる。
11	3節 正規分布 1 正規分布 4節 統計的な推測 1 母平均の推定 2 仮説検定 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・連続分布とその代表の正規分布について理解し、正規分布に従う確率変数の確率を求めることができる。また、二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・母平均、母分散、母標準偏差や標本平均の分布、分散などを求めることができる。また、標本平均の分布と正規分布の関係を理解し、標本平均の分布から母平均を推定する方法を理解する。さらに、信頼度 95%の信頼区間という考え方を理解し、母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。 ・仮説検定の考えや帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域などの用語について理解し、母平均の検定、母比率の検定を行うとともに、母集団に関する予想の妥当性について判断することができる。 ・“1 か月間に何冊の本を読む?”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
12	3章 数学と社会生活 1節 数学的モデル化 1 数学的モデルを用いた予測 2節 関数モデル 1 関数モデルを用いた予測 3節 確率モデル 1 確率モデルを用いた予測 4節 幾何モデル 1 幾何モデルを用いた考察 5節 フェルミ推定 1 フェルミ推定による推定	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の特徴を捉え、数学的に表現した数学的モデルの考え方について理解する。また、ポップコーンを買うまでの待ち時間を、ある仮定に基づく数学的モデルを用いて考察したり、予測の度合いを高めるために数学的モデルを修正したりすることができる。 ・日常生活や社会生活などの様々な問題場面に潜む変量間の関係を見いだす関数モデルについて理解する。また、ジュースの販売数と日ごとの最高気温を変量として関数モデルを考え、回帰直線を求めて販売数を予測したり、予測の度合いを高めるために仮定や関数モデルを見直したりすることができる。 ・身の回りで起こる不確実な要素を含む現象を確率を用いて表現する確率モデルについて理解する。また、貸し出した自転車がそれぞれのポートにどのような確率で返却されるかを、実験データをもとに確率モデルをつくって予測したり、考えたりすることができる。 ・事象を平面図形または空間図形を用いて表現する幾何モデルについて理解する。また、ラグビーのコンバージョンキックを蹴って成功しやすいのはどの地点かを、幾何モデルを用いて考えることができる。 ・直感で把握することが困難な数の概数を求めるフェルミ推定の考え方を理解する。また、日本で1年間に使用されるチョークの本数などの概数を、フェルミ推定を用いて考えることができる。

【数学】 数学Ⅲ 年間学習指導計画

教科書	数学Ⅲ Advanced (東書 数Ⅲ701)	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 3年次 (選択科目)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	1章 関数と極限 1節 関数 1 分数関数とそのグラフ 2 無理関数とそのグラフ 3 逆関数と合成関数 問題 [課題学習] 探究 無理式を含む方程式・不等式 2節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 4 無限等比級数 5 いろいろな無限級数 問題 [課題学習] 探究 いろいろな漸化式と極限值	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数とそのグラフについて理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察することができる。 ・無理関数とそのグラフについて理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察することができる。 ・逆関数や合成関数の意味を理解し、それらを求めることができる。 ・無理不等式について学んだことを振り返り、統合的・発展的に考察することができる。 ・数列の極限について理解し、さまざまな数列の極限を求めることができる。 ・無限等比数列の収束、発散について理解し、これをもとにさまざまな数列の極限について考察することができる。 ・無限級数の収束、発散について理解し、その和を求めることができる。 ・無限等比級数の収束、発散について理解し、その和を求めたり、応用したりすることができる。 ・無限級数の和・差・実数倍の性質を利用して、さまざまな無限級数の和を求めることができる。 ・漸化式で定められる数列の極限について学んだことを振り返り、発展的に考察することができる。
5	3節 関数の極限 1 関数の極限 2 三角関数と極限 3 関数の連続性 問題	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の極限について理解し、さまざまな関数の極限を求めることができる。 ・三角関数の極限について理解し、これをもとにさまざまな関数の極限について考察することができる。 ・関数の連続性について理解し、関数の連続性を調べたり、連続関数をも

月	単元名	学習内容
	<p>[課題学習]探究 2 つの関数の商と差の極限 練習問題</p> <p>[課題学習]活用 ニュートン法</p> <p>2章 微分 1節 微分法 1 導関数 2 積・商の微分法 3 合成関数の微分法</p>	<p>つ性質を調べたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 つの関数の商と差の極限について学んだことを振り返り, 統合的・発展的に考察することができる。 ・関数の極限について学んだことを, 問題解決に活用することができる。 <p>・微分可能性について理解し, 定義に基づいて関数の導関数を求めることができる。また, 導関数の基本的な性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積, 商の導関数について理解し, それらを用いて基本的な関数の導関数を求めることができる。 ・合成関数の微分法および逆関数の微分法について理解し, それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。
6	<p>2節 いろいろな関数の導関数</p> <p>1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数 3 いろいろな形で表される関数の微分 4 高次導関数 問題</p> <p>[課題学習]探究 対数微分法の様々な利用 練習問題</p> <p>[課題学習]活用 当たりくじの確率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の導関数について理解し, 三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 ・自然対数の底 e を導入し, 対数関数の導関数について理解する。また, 対数微分法を理解し, それを用いて, 指数関数の導関数を求めることができる。 ・さまざまな曲線について, それを表す方程式を微分して考察することができる。また, 媒介変数表示を理解し, 媒介変数で表された関数を微分することができる。 ・高次導関数について理解する。 ・対数微分法について学んだことを振り返り, 統合的・発展的に考察することができる。 ・極限と自然対数について学んだことを問題解決に活用することができる。
8	<p>3章 微分の応用</p> <p>1節 接線, 関数の増減</p> <p>1 接線・法線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の増減 4 関数の極大・極小 5 第2次導関数とグラフ 問題</p> <p>[課題学習]探究 媒介変数で表された曲線の概形</p> <p>2節 微分のいろいろな応用</p> <p>1 最大・最小 2 方程式・不等式への応用 3 速度・加速度 4 近似式 問題</p> <p>[課題学習]活用 缶詰の表面積と体積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。 ・平均値の定理の意味を理解し, 不等式の証明などに応用することができる。 ・平均値の定理に基づいて関数の増減について考察することができる。また, 関数の増減を調べることができる。 ・関数の値の変化を調べ, 極値を求めることができる。 ・第2次導関数と曲線の凹凸の関係について理解する。また, 関数の増減, 極値, グラフの凹凸, 変曲点などを踏まえて, 関数のグラフの概形をかくことができる。 ・導関数とグラフの概形の関係について学んだことを振り返り, 統合的・発展的に考察することができる。 <p>・微分法を用いて, 関数の最大値, 最小値を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式・方程式からつくられた関数の最大・最小やグラフを利用して, 不等式・方程式を考察することができる。 ・運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解する。さらに, いろいろな量の変化率について考察することができる。 関数の局所的な変化に着目し, 近似式の考え方について理解し, 近似式や近似値を求めることができる。 ・関数の最大・最小について学んだことを問題解決に活用することができる。 ・導関数や極限について学んだことを問題解決に活用することができる。

月	単元名	学習内容
	練習問題 活用 「R=100」とは何か?	
9	4章 積分とその応用 1節 不定積分 1 不定積分とその基本公式 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 問題 [課題学習]探究 不定積分 $\int e^x \sin x dx$, $\int e^x \cos x dx$ を求める	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の基本的な性質について理解し、さまざまな関数の不定積分を求めることができる。 ・置換積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の不定積分を考察することができる。 ・部分積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の不定積分を考察することができる。 ・目的に応じて式を変形するなどして、いろいろな関数の不定積分を考察することができる。 ・不定積分について学んだことを振り返り、統合的・発展的に考察することができる。
10	2節 定積分 1 定積分 2 定積分の置換積分法 3 定積分の部分積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分の基本的な性質について理解し、さまざまな関数の定積分を求めることができる。 ・定積分の置換積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の定積分を考察することができる。 ・定積分の部分積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の定積分を考察することができる。
11	4 定積分で表された関数 5 定積分と区分求積法 6 定積分と不等式 問題 [課題学習]探究 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^\alpha}$ の収束と発散 3節 面積・体積・長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・積分と微分の関係について理解し、定積分で表された関数について考察することができる。 ・区分求積法について理解し、数列の和の極限の考察に応用することができる。 ・定積分と面積の関係を利用して、さまざまな不等式を証明することができる。 ・定積分と不等式について学んだことを振り返り、統合的・発展的に考察することができる。
12	3節 面積・体積・長さ 1 面積 2 体積 3 曲線の長さとのり 問題 [課題学習]探究 様々な断面による立体の求積 練習問題 [課題学習]活用 回転体としてのガラスの容積	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分と面積の関係について理解し、さまざまな図形の面積を考察することができる。 ・定積分と体積の関係について理解し、さまざまな図形の体積を考察することができる。 ・定積分と極線の長さの関係について理解し、さまざまな曲線の長さを考察することができる。 ・立体の求積について学んだことを振り返り、多面的に考察することができる。 ・積分を日常の事象の問題解決に活用することができる。

【数学】 数学 C 年間学習指導計画

教科書	数学C Standard (東書 数C702)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次 (選択科目)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	1章 ベクトル 章導入 Introduction 1節 平面上のベクトル 1 平面上のベクトル 2 ベクトルの分解	<ul style="list-style-type: none"> ・船はぶつかる?ぶつかからない?の考察を通して、ベクトルについて興味・関心を高める。 ・平面上のベクトルを図示する活動などを通して、ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。また、実数の演算法則と関連付けてベクトルの演算法則が成り立つことを考察することができる。 ・具体的な図形における考察を通して、ベクトルの分解とその一意性について理解する。
5	3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上のベクトルが 2 つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。また、成分表示を利用してベクトルの大きさを求めることや、条件を満たす単位ベクトルを成分表示することができる。さらに、ベクトルの演算や平行・分解などについての理解を深める。 ・2 つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。
6	2節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル 2 ベクトル方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・ベクトルの演算や内積の基本的な性質及び位置ベクトルの考え方をを用いて、平面上の直線や円をベクトル方程式で表現する方法について考察したり、与えられた条件を満たす点がえがく図形について考察したりすることができる。
7	3節 空間におけるベクトル 1 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・空間におけるベクトルの定義や平行条件、ベクトルの分解とその一意性について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。

月	単元名	学習内容
	2 空間座標と空間のベクトル 3 空間のベクトルの内積 4 位置ベクトルと空間の図形 Training Level Up 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また、空間のベクトルでも平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し、ベクトルの加減や実数倍などの演算の表し方を平面の場合から類推して統合的・発展的に考察することができる。 ・平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解する。また、そのことを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。 ・平面における位置ベクトルの考えを拡張して空間における位置ベクトルについて理解する。また、それを用いて空間図形の性質について多面的に考察したり、空間における図形のベクトル方程式を求めたりすることができる。 ・“ケプラーと正多面体”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
9	2章 平面上の曲線 章導入 Introduction 1節 2次曲線 1 放物線, 楕円, 双曲線 2 2次曲線と平行移動 3 2次曲線と直線 4 2次曲線と離心率	<ul style="list-style-type: none"> ・境界線は?の考察を通して、平面上の曲線について興味・関心を高める。 放物線, 楕円, 双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。 ・2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察することができる。また、平行移動したときの2次曲線の方程式の変化について理解する。 ・2次曲線と直線の共有点について、2次方程式の実数解の考え方を用いて考察することができる。また、2次方程式の判別式を用いて、2次曲線と直線の共有点の個数を求めたり、2次曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。 ・放物線, 楕円, 双曲線を、離心率の考え方を用いることで相互に関連付けて捉えて考察することができる。
10	2節 媒介変数表示と極座標 1 曲線の媒介変数表示 2 極座標と極方程式 Training Level Up 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。 ・直交座標と極座標の関係及び極方程式について理解する。また、直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことやその逆のことができる。 ・“アトラクションの動きを調べてみよう”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
11	3章 複素数平面 章導入 Introduction 1節 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド・モアブルの定理 Training 2節 図形への応用 1 2直線のなす角 2 複素数平面上の図形	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和や差を図示しようの考察を通して、複素数平面について興味・関心を高める。 ・複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の実数倍や、和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。複素数の極形式を理解し、$a+bi$ の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係を理解する。 ・ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $z^n = \alpha$ の解を求めることができる。さらに、その解を複素数平面上に図示することができる。

月	単元名	学習内容
	Training Level Up 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・偏角を用いることにより、複素数平面上の 2 直線がなす角の大きさが求められることを理解する。また、複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。 ・内分点や外分点、円、軌跡を、複素数を用いて表現することができる。 ・“相似条件と複素数”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
12	4章 数学的な表現の工夫 1節 統計グラフに表す 1 適切なグラフの選択 2 様々な表やグラフ 2節 行列に表す 1 行列とその加法・減法 2 行列の乗法とその性質 3 行列の乗法の活用 3節 離散グラフに表す 1 離散グラフとその活用 2 離散グラフと行列	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類に応じて適切な図、表、統計グラフなどの表現方法を選択することができる。 既知の図、表、統計グラフでは読み取りにくい情報がないかを考察し、複数の図表を組み合わせたり、新たな表現方法を検討したりして、表現の改善点や改善方法を見いだすことができる。 ・アンケート調査の結果を簡単に表現する方法に関する考察を通して行列を定義し、行列の加法・減法を用いることで能率的に調査結果を処理することができる。 ・行列の積を定義し、それを用いて事象を考察するとともに、行列の乗法の性質について理解を深める。 ・行列の積を用いてベクトルの変化を観察し、原点を中心とする回転を表す行列について考察することができる。 ・具体的な事象を離散グラフで表して考察することを通して、その意義や良さを理解する。 ・離散グラフについて隣接行列とその演算を用いて考察する活動を通して、このような表現の工夫によって能率的に処理したり、事象の様子を的確に伝えたりすることができることを認識できるようにする。

【理科】 科学と人間生活 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「科学と人間生活」(科人 701)	単位数	2単位
	ニューサポート科学と人間生活	学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	1 さまざまな微生物 A 身のまわりの微生物 B 生態系における微生物のはたらき C 窒素と微生物のはたらき D 水中の微生物のはたらき 2 私たちの暮らしへの微生物の利用 A 微生物の発見の歴史 B 食品と微生物 C 発酵のしくみ D 医薬品と微生物
6	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	1 人の資格と光による影響 A 視覚とは何か B 眼の構造とはたらき 2 血糖濃度を調節するしくみ A 血糖とは何か B 血糖濃度の調節 3 体を守る免疫のしくみ A 感染症から体を守るしくみ B 免疫のしくみと日常生活 4 生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき A 遺伝子と DNA B DNA の遺伝情報からタンパク質へ C 体内ではたらくタンパク質 1 リサイクルとは何か A 資源の再利用と 3R

月	単元名	学習内容
		2 金属の性質とその再利用 A 金属の性質 B 異なる金属の区別 C 金属の製錬と人間生活 D 金属の再生利用
7	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 2編 物質の科学 2章 衣料と食品	3 プラスチックの性質とその再利用 A プラスチックの性質と分類 B プラスチックはどのようにするのか C プラスチックの再生利用 1 衣料の科学 A 繊維の種類と性質 B 生物からつくられる天然繊維 C 石油からつくられる合成繊維 2 食品の科学 A 体に必要な栄養素 B 脂質の性質 C 炭水化物の性質 D タンパク質の性質
10	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	1 光の進み方とその基本的な性質 A 光の進み方とその見え方 B 光の波としての性質① C 光の波としての性質② 2 目に見える光と色の見え方 A さまざまなスペクトル B 光の3原色と色 3 目に見えない光とその利用 A 電磁波の利用① B 電磁波の利用②
11	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	1 熱とは何か A 原子や分子の熱運動 B 熱容量と比熱 C 熱の伝わり方 2 エネルギーの利用と私たちの暮らし A 力学的エネルギーと熱エネルギー B ほかのエネルギーから熱エネルギーへ C 熱エネルギーから仕事への変換 D エネルギーの有効利用
12	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球(14h)	1 太陽と月がもたらすリズム(5h) A 太陽と月がつくる暦(2h) B 海水面の変動と潮の満ち干をもたらす力 2 太陽が動かす大気と水

月	単元名	学習内容
	<p>4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害</p> <p>5編 課題研究(12h)</p>	<p>A 太陽の放射エネルギー B 太陽がつくる大気と海洋の循環 C 1年を通じた大気の運動と気象災害</p> <p>1 身近な自然景観の成り立ち A 移り変わる地球の景観 B 山地や低地のでき方 C 火山がつくる景観 D 太陽のエネルギーがつくる景観</p> <p>2 自然災害と防災 A 自然災害とは B 地震による災害 C 火山による災害 D 気象災害・土砂災害と防災 E 自然災害との付き合い方</p> <p>・課題や仮説の設定, 検証計画の立案 ・観察・実験などの実施, 結果の整理と考察 ・レポートの作成, 発表, 振り返り</p>

【理科】 化学基礎 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編化学基礎」(化基 702), ニューサポート新編化学基礎	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素	<ul style="list-style-type: none"> ・化学とは何か 1節 物質の成分 <ul style="list-style-type: none"> ・純物質と混合物 2節 物質の構成元素 <ul style="list-style-type: none"> ・元素 ・単体と化合物 ・元素の確認 3節 物質の三態 <ul style="list-style-type: none"> ・粒子の熱運動 ・物質の三態と状態変化
6	2編 物質の構成 1章 原子の構成と元素の周期表	<ul style="list-style-type: none"> 1節 原子の構造 <ul style="list-style-type: none"> ・原子 ・同位体 2節 電子配置と周期表 <ul style="list-style-type: none"> ・原子の電子配置 ・元素の周期表
7	2編 物質の構成 2章 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> 1節 イオンとイオン結合 <ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成 ・イオン化エネルギー ・イオン結合とイオン結晶 2節 分子と共有結合 <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合と分子の形成 ・高分子化合物 ・配位結合 ・電気陰性度と分子の極性 ・分子間力と分子結晶 ・共有結合の結晶 3節 金属と金属結合 <ul style="list-style-type: none"> ・金属結合 4節 化学結合と物質の分類 <ul style="list-style-type: none"> ・化学結合と性質の分類

月	単元名	学習内容
10	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	1節 原子量・分子量・式量 ・原子の相対質量 ・原子量 ・分子量・式量 2節 物質質量 ・アボガドロ数と物質質量 ・1 mol の気体の体積 3節 溶液の濃度 ・溶液の濃度 4節 化学反応の表し方 ・化学反応式 ・イオン反応 5節 化学反応の表す量的関係 ・化学反応の表す量的関係
11	3編 物質の変化 2章 酸と塩基	1節 酸と塩基 ・酸と塩基の性質 ・酸と塩基の定義 ・広い意味の酸・塩基 ・酸と塩基の価数 2節 水素イオン濃度とpH ・水素イオン濃度 ・水素イオン濃度とpH ・pH 指示薬とpH の測定 3節 中和反応と塩の生成 ・中和反応と塩の生成 ・塩の種類 4節 中和滴定 ・中和滴定の量的関係 ・中和滴定 ・滴定曲線
12	3編 物質の変化 2章 酸化還元反応 3編 物質の変化 終章 化学が拓く世界	1節 酸化と還元 ・酸化と還元 ・酸化数と酸化還元反応 2節 酸化剤と還元剤 ・酸化剤と還元剤 ・電子の授受と酸化還元反応式 ・酸化剤と還元剤のはたらきの強さ ・酸化還元滴定 3節 金属の酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向 ・金属の反応性 4節 酸化還元反応の応用 ・電池のしくみ ・実用電池 ・金属の製錬

【理科】 生物基礎 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編生物基礎」(生基 702), ニューサポート新編生物基礎	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1 編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2 章 生物とエネルギー	1 節 生物の多様性 A 生物の世界の見方 B 進化の証拠 2 節 生物の共通 A 生物の特徴 3 節 細胞の特徴 A 真核細胞の構造 B 原核細胞の構造 C 細胞の共通性と多様性 1 節 生体と ATP A 生命活動とエネルギー B ATP の構造 C 代謝 2 節 酵素のはたらき A 酵素 3 節 呼吸と光合成 A 呼吸 B 光合成
6	2 編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報と DNA	1 節 生物と遺伝子 A 遺伝情報と形質 B DNA と染色体 C ゲノム 2 節 DNA の構造 A 塩基の相補性 B DNA の構造 C 塩基の並び方 3 節 DNA の複製と分配 A DNA が複製されるしくみ B 細胞の分裂と DNA

月	単元名	学習内容
	2 編 遺伝子とそのはたらき 2 章 遺伝情報とタンパク質の合成	1 節 タンパク質 A タンパク質とアミノ酸 B 生命活動とタンパク質 2 節 タンパク質と遺伝情報 A DNA からタンパク質へ B RNA と DNA の違い C 転写と翻訳 D 遺伝暗号表 3 節 細胞の分化と遺伝子 A 細胞の分化 B 遺伝子の発現
7	3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ	1 節 体内環境 A 体内環境をつくる体液 B 体内環境を維持するしくみ 2 節 神経系による情報伝達 A 神経系 B 自律神経系による調節 C 脳の構造とはたらき 3 節 内分泌系による情報伝達 A ホルモンによる調節 B ホルモンの分泌量の調節 4 節 血糖濃度の調節(2h) A 血糖濃度を調節するしくみ B 糖尿病とは
10	3 編 ヒトの体の調節 2 章 免疫のはたらき	1 節 免疫のしくみ A 体を守るしくみ B 自然免疫 C 適応免疫 D 血液凝固 2 節 免疫の応用 A 記憶細胞と二次応答 B 免疫グロブリン C 予防接種とワクチン 3 節 免疫とさまざまな疾患 A アレルギー B 自己免疫疾患 C HIV と AIDS
11	4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	1 節 身のまわりの植生 A 環境形成作用 B 階層構造 C 土壌 2 節 植生の遷移 A 遷移と環境 B ギャップ更新と二次遷移 3 節 遷移とバイオーム A 遷移とバイオーム B 日本のバイオーム
12	4 編 生物の多様性と生態系	1 節 生態系における生物の多様性

月	単元名	学習内容
	<p>系</p> <p>2章 生態系と生物の多様性</p> <p>結章 生物基礎と私たち</p>	<p>A 食物網と生態ピラミッド</p> <p>B 生物の多様性と環境</p> <p>2節 生態系における生物間の関係</p> <p>A 生物間の関係性</p> <p>B 生物種の絶滅</p> <p>3節 生態系と人為的攪乱</p> <p>A 人為的攪乱</p> <p>B 生態系のバランス</p> <p>4節 生態系の保全</p> <p>A 環境アセスメント</p> <p>B 生態系サービス</p> <p>C 外来生物が生態系に与える影響</p> <p>D ヒトの生態系の共存</p> <p>A 生物の特徴と私たち</p> <p>B 遺伝子のはたらきと私たち</p> <p>C 体内環境と私たち</p> <p>D 生態系と私たち</p> <p>E あなたにとっての生物基礎</p>

【理科】 生物 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「生物」(生物 701) ニューアチーブ生物	単位数	4単位
		学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1 編 生物の進化 1 章 生命の起源と細胞の進化 2 章 遺伝子の変化と進化のしくみ	1 節 共通性と多様性をつなぐ進化 A 私たちから最も遠い生物 B 進化が生物にもたらすもの 2 節 生命の誕生 A アミノ酸の合成 B 核酸やタンパク質の合成 C 細胞の起源 3 節 生物の多様性と地球環境の変化 A 生物の出現と大気組成の変化 B 真核生物の誕生 1 節 遺伝的変異 A 遺伝的変異が生じるしくみ 2 節 多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖 A 染色体と遺伝子座 B 減数分裂で生じる多様な配偶子 C 遺伝子の連鎖と独立 D 乗換えて生じる新しい連鎖と組換え 3 節 進化の定義と自然選択による進化 A 自然選択による進化 B 適応進化 4 節 遺伝子レベルでみる進化 A 遺伝子プールと遺伝子頻度 B 自然選択による遺伝子頻度の変化 C 遺伝的浮動 D 分子進化と中立進化 5 節 種分化 A 種とは何か B 種分化のしくみ C 種多様化のしくみ

月	単元名	学習内容
	3章 生物の系統と進化	1 節 生物の系統 A DNA の塩基配列に基づく系統樹 B 系統の探究 2 節 生物の系統分類 A 生物の分類 B ドメイン 3 節 霊長類のなかのヒト(2h) A 霊長類の特徴 B 類人猿とヒトの違い 4 節 人類の出現と変遷 A 初期の人類の特徴 B 原人・旧人の出現 C ヒトの出現
6	2 編 生命現象と物質 1 章 細胞と物質	1 節 細胞を構成する成分 A 細胞を構成する成分 2 節 生体膜のはたらき A 生体膜のはたらきと構造 B 生体膜の透過 3 節 細胞の構造 A 真核細胞の構造とはたらき B 遺伝情報にかかわる構造 C エネルギーの変換にかかわる構造 D タンパク質の合成にかかわる構造 E 細胞分裂や物質の貯蔵にかかわる構造 F 細胞の保護にかかわる構造 G 細胞の形の維持や運動にかかわる構造 4 節 タンパク質の構造 A タンパク質の構造 B タンパク質のフォールディングと変性 5 節 酵素としてはたらくタンパク質 A 活性化エネルギーと酵素 B 活性部位と基質特異性 C 酵素の反応速度 D 酵素の活性と変性 E 酵素反応の阻害 F 補酵素と金属 G 酵素反応の調節 6 節 生命現象とタンパク質 A 生体膜での輸送 B 細胞間の情報伝達
	2 編 生命現象と物質 2 章 代謝とエネルギー	1 節 代謝とエネルギー A 化学反応とエネルギー B 代謝と ATP 2 節 呼吸 A 呼吸の反応経路と反応の場 B 解糖系 C クエン酸回路

月	単元名	学習内容
		D 電子伝達系 E 呼吸全体での ATP の収率 3 節 発酵 A 発酵と呼吸の違い B 発酵の種類 4 節 光合成 A 光合成反応の過程と反応の場 B チラコイドでの反応～光合成の第一段階～ C ストロマでの反応～光合成の第二段階～
7	3 編 遺伝情報の発現と発生 1 章 遺伝情報とその発現 2 章 発生と遺伝子発現	1 節 DNA の構造 A DNA の二重らせん構造と方向性 2 節 DNA の複製 A DNA の複製の過程 3 節 遺伝情報の流れ A 遺伝情報の流れ 4 節 RNA と転写 A RNA の構造と種類 B 転写のしくみ C 真核生物の RNA の加工 5 節 翻訳のしくみ A コドンと遺伝暗号表 B 翻訳のしくみ C 原核生物のタンパク質合成 6 節 遺伝情報の変化 A 突然変異とアミノ酸配列 B DNA 多型 1 節 原核生物の遺伝子発現の調節 A 大腸菌と培地 B 大腸菌の環境に対する応答 C 原核生物の基本的な転写調節 2 節 真核生物の遺伝子発現の調節 A 真核生物の遺伝子発現の調節 B 細胞外の環境に応じた遺伝子発現の調節 3 節 選択的遺伝子発現と細胞分化 (1h) A 分化した細胞の遺伝子発現 B 遺伝子発現の調節の変化と細胞の分化 4 節 動物の発生 A 動物の配偶子形成 B 卵と精子 C 受精 D ウニの発生 E カエルの発生 5 節 胚の細胞の発生運命と遺伝子発現 A 原腸形成での細胞の動きと発生運命 B 原基分布図と細胞分化 C 細胞分化と遺伝子発現 6 節 発生現象と遺伝子発現の調節

月	単元名	学習内容
	3章 遺伝子を扱う技術	A 細胞質決定因子 B カエルの受精でみられる卵の細胞質の配置換えと背腹の決定 C ショウジョウバエの前方部の決定 D 誘導 E 誘導の連鎖 7節 動物の形と調節遺伝子の発現 A 動物の体の形を決める遺伝子 B 動物の形づくりとホックス遺伝子 1節 遺伝子を増幅する技術 A 制限酵素による DNA の切断 B DNA クローニング C ポリメラーゼ連鎖反応 2節 塩基配列を解読する技術 A 電気泳動 B サンガー法 (ジデオキシ法) C ゲノムプロジェクト 3節 遺伝子組換え技術の利用 A 大腸菌への遺伝子導入 B 生物個体への遺伝子導入 4節 遺伝子や細胞を扱う技術の課題 A 遺伝子や細胞を扱う技術の課題
10	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動	1節 刺激の受容から反応への流れ A 情報の伝達と反応 B ニューロン 2節 ニューロンの興奮 A 静止電位と活動電位 B 全か無かの法則 3節 興奮の伝導 A 興奮の伝導 B 跳躍伝導 4節 興奮の伝達 A シナプスと情報の伝達 5節 刺激の受容と感覚 A 光刺激の受容 B 視細胞 C 眼の調節 6節 中枢神経系での情報処理 A 中枢神経系 B 反射 7節 効果器 A 筋肉の構造 B 筋収縮のコントロール 1節 動物の行動とは A 動物の行動をめぐる 4 つのなぜ B 行動発現のしくみ C 行動の生得的な要素と習得的な要素

月	単元名	学習内容
		2節 刺激の受容と行動 A フェロモンと走性 B 行動の神経メカニズム 3節 学習のしくみ A 慣れの神経メカニズム B 脱慣れと鋭敏化 C 古典的条件付け
11	4編 生物の環境応答 3章 植物の環境応答	1節 被子植物の生殖と発生 A 被子植物の配偶子形成と受精 B 被子植物の胚の発生 2節 植物の一生の出来事と環境の影響 A 植物を取り巻く環境要因 3節 植物ホルモンと光受容体 A 植物ホルモン B 光受容体 4節 環境要因による発芽の調節 A 種子の休眠と発芽 B 光による発芽の調節 C 温度による発芽の調節 D 発芽の調節と植物ホルモン 5節 茎や根の成長と環境要因の影響 A 茎の伸長成長と肥大成長の調節 B 根の成長の調節 C 屈性と傾性 D 頂芽優勢 6節 気孔の開閉の調節と環境要因の影響 A 気孔の開閉のしくみと環境の変化 7節 花芽形成と環境要因の影響 A 花芽形成と日長の関係 B 花成ホルモンとそのはたらき C 花芽形成に影響を及ぼすその他の要因 8節 果実の形成と成熟のしくみ A 果実の形成・成長と植物ホルモン B 果実の成熟と植物ホルモン 9節 器官の老化と脱落のしくみ A 葉の老化と脱落
12	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	1節 生態系からみた生物 A 減少する生物 B 増え過ぎる生物 2節 個体群と環境 A 個体群どうしのかかわり B 個体群の大きさと個体群密度 C 個体の分布 3節 個体群の構造と成長 A 密度効果 B 種内競争 C 相変異 D 個体群密度の変動

月	単元名	学習内容
	<p>2章 生態系の物質生産と物質循環</p> <p>3章 生態系と人間生活</p>	<p>E 生命表と生存曲線 F 個体群の年齢構成</p> <p>4節 個体間の相互作用 A 群れ B 縄張り C 順位制とつがい関係 D 共同繁殖 E 社会性昆虫</p> <p>5節 種間の相互作用 A 競争 B 捕食と被食 C 擬態 D 相利共生</p> <p>6節 生物群集の成り立ちと多種の共存 A 生態的地位(ニッチ)とその分割 B 多種の共存がもたらす捕食 C 攪乱がもたらす共存 D 食物連鎖を通じた間接的な関係</p> <p>1節 食物網と物質生産 A 生態系を流れるエネルギー B 炭素の循環 C 窒素の循環</p> <p>2節 生態系の物質収支と生態ピラミッド A 生産者の物質収支 B 森林生態系の物質収支 C バイオームと生産量, 現存量 D エネルギーの効率 E 消費者の物質収支と生態ピラミッド</p> <p>1節 生物多様性 A 種の多様性 B 遺伝的多様性 C 生態系の多様性</p> <p>2節 人間社会の変化と生態系 A 窒素やリンの利用の増加 B リンや窒素の流入によるアオコの発生 C 地球温暖化 D 危険な化学物質による環境汚染 E 森林の減少 F 湿地の減少</p> <p>3節 生態系の復元 A 外来生物の影響とその駆除 B 絶滅した在来生物の再導入 C 河川や湿地の復元</p> <p>4節 人間は自然とどう付き合っていったらよいか A 社会の発展と生態系, そして環境問題 B 生物多様性条約</p>

月	単元名	学習内容
		C 愛知目標 D 将来への展望

【保健体育】 体育 I 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の楽しさや喜びを味わい、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツの始まりと変遷 ■ 世界の民族スポーツについて調べてみよう ■ 文化としてのスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。 ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本生まれのスポーツ ■ 競技スポーツにおける競争の意味 ■ オリンピックとパラリンピックの意義 ■ オリンピックの課題 ■ パラリンピックの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。 ・オリンピズムとオリンピックの価値について説明できる。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツが経済に及ぼす効果 ■ スポーツの高潔さとドーピング ■ スポーツの価値について考えてみよう ■ なぜドーピングは許されないのか ■ スポーツと環境 ■ スポーツとまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。 ・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 ・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。

【保健体育】 体育Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の楽しさや喜びを味わい、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツにおける技能と体力 ■スポーツにおける技術と戦術 ■スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう ■スポーツとメディアの関係性 ■技能の上達過程と練習 ■球技における戦術の特徴を比較してみよう ■ゲームにおける戦術的判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気を付けるべき点をあげることができる。 ・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる。 ・技能がどのようなステップを経て上達するか説明できる。 ・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ■効果的な動きのメカニズム ■運動・スポーツと脳 ■動きと力 ■体カトレーニング ■運動やスポーツでの安全の確保 ■スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう ■スポーツ外傷・障害とその原因 ■健康づくりのために運動を実践してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。 ・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる。 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。 ・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる。

【保健体育】 体育Ⅲ 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の楽しさや喜びを味わい、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯スポーツの見方・考え方 ■スポーツ科学のすすめ ■スポーツにかかわる職業 ■ライフスタイルに応じたスポーツ ■身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう ■自分でスポーツライフを設計してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる。 ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。 ・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげ説明できる。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツを推進する取り組み ■諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう ■豊かなスポーツライフの創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。 ・自分が住んでいた身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。 ・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。

【保健体育】保健 I 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	1単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■健康の考え方と成り立ち ■私たちの健康のすがた ■生活習慣病の予防と回復 ■がんの原因と予防 ■がんの治療と回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ■食事と健康: BMI から自分の肥満度を調べてみよう ■休養・睡眠と健康 ■喫煙と健康 ■飲酒と健康 ■薬物乱用と健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について説明できる。 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■精神疾患の特徴 ■精神疾患の予防 ■精神疾患からの回復 ■現代の感染症 ■感染症の予防: 新たなインフルエンザを警戒しよう ■性感染症・エイズとその予防 ■健康に関する意思決定・行動選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。

月	単元名	学習内容
		<p>感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none">・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。

【保健体育】保健Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	1単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■事故の現状と発生要因 ■安全な社会の形成：犯罪から身を守ろう ■交通における安全 ■日常的な応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境余韻が関連していることについて例をあげて説明できる。 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ライフステージと健康 ■思春期と健康 ■結婚生活と健康 ■働くことと健康 ■労働災害と健康 ■健康的な職業生活：仕事を健康の観点から考えてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達に関わって起こる問題について例をあげることができる。 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■大気汚染と健康 ■水質汚濁、土壌汚染と健康 ■環境と健康にかかわる対策 ■ごみの処理と上下水道の整備：海洋プラスチックについて考えてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康今日を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。

月	単元名	学習内容
	■さまざまな保健活動や社会的対策	・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。

【芸術】美術 1 年間学習指導計画

教科書	日文「高校生の美術Ⅰ」	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・幅広い創造活動を通して、生活や社会のなかにある美術文化と関わる資質・能力を育む。
- ・基礎的な技術、技法を学び、それらの知識を応用して自らのイメージを具現化する力をつける。
- ・観察力を養い、観察に基づいた自分らしい表現方法を模索する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	鉛筆グラデーション 八角柱の立体表現を通して鉛筆の濃淡を楽しもう	絵画領域 ・絵を描く際の基本的な技術であるグラデーションを学び、芸術活動へ取り組む意識づけを行う。 ・描く事の基本である鉛筆になれ、光の方向や形、明暗を意識した創作活動の素地を身に付ける。 ・ティッシュや指で擦るなど道具や技法の工夫を通して美術を楽しむ情操を育む。
6	静物画 身近な物を 2 つ以上選び静物画を描いてみよう	絵画領域 ・観察する力を養うことで美術的視点を学び鑑賞力を見につける。 ・形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を活かして表す。 ・モチーフを基に形や色彩、質感などの効果を考え、後送を練ったり鑑賞したりする。 ・身近な物の特徴や美しさを捉える創作活動に主体的に取り組む。
7	レタリング 明朝体かゴシック体のいずれかを選び、自分の名前レタリングしてみよう	デザイン領域 ・観察を基にフォントの特徴を発見し、デザインされた文字の成り立ちを知ることによって身近にあるデザインを意識する素地を身に付ける。 ・定規などの道具を活用しフォントの特徴をふまえた作品を仕上げている。 ・レタリングの創作活動に主体的に取り組む。
10	キャラクターデザイン ひゅーにゃんの友だちをテーマにキャラクターデザインをしよう	デザイン領域 ・身近なデザインであるキャラクターデザインを通して目的と効果を意識した創作活動を学ぶ。 ・伝えたい情報や使われる場面を基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・伝えたい情報やイメージキャラクターとして豊かに表す創作活動に主体的に取り組む。
11	4コマ漫画 4コマ漫画を作ろう	映像メディア領域 ・これまで学んだ絵画とデザインの両方の表現方法を活用した時間経過の表現を学ぶ。 ・漫画表現に興味・関心を持ち、構想を練ることができた。 ・道具を活用し特性を生かした表現ができています。 ・漫画表現の良さを生かして表す創作活動に主体的に取り組む。

月	単元名	学習内容
12	美術史 西洋の美術史と日本の美術史から作品を選び調べ学習を通して知識を養い、展示会を調べることで美術文化への興味を高める。	鑑賞 ・美術の歴史から文化の発展を知り、作品の作風や歴史的背景を学ぶ。 ・歴史的背景や作者について調べたことから作者の工夫、制作意図などについて考える。 ・美術作品の美しさを鑑賞する創作活動に主体的に取り組む。

【外国語】英語コミュニケーションⅠ 年間学習指導計画

教科書	「All Aboard! English Communication I」(CI701)	単位数	3単位
	「All Aboard! English Communication I ワークブック」 (東京書籍)	学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Warm-Up 2 教室で使う表現 Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! Communication 1 自己紹介 Lesson 1 Breakfast around the World	<p>[題材内容] 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。</p> <p>[言語材料] be 動詞</p> <p>[言語材料] 一般動詞</p> <p>[言語活動] 自己紹介をする。</p> <p>[題材内容] 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。</p> <p>[言語材料] 過去形</p> <p>[言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べることができる。</p>
6	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 文法のまとめ 1 Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	<p>[題材内容] オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。</p> <p>[言語材料] 進行形: <be 動詞+動詞の-ing 形></p> <p>[言語活動] 好きな動物について、英語で述べることができる。</p> <p>[言語材料] be 動詞と一般動詞 / 否定文と疑問文 / 過去形 / 進行形</p> <p>[題材内容] 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。</p> <p>[言語材料] 助動詞: can, will</p>

月	単元名	学習内容
		[言語活動] ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。
7	Lesson 4 A Miracle Mirror	[題材内容] 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 [言語材料] to 不定詞:〈to+動詞の原形〉 [言語活動] 行ってみたい場所について、英語で述べることができる。
10	Lesson 5 Learning from the Sea 英文のしくみ 2 Reading 1 Short Stories in English Extra Target 2 〇〇が・・・するのを見た Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	[言語材料] 主語+動詞+目的語+目的語 [題材内容] 3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。 [言語活動] 登場人物の気持ちを考えながらペアになって音読する。 [言語材料] 知覚動詞 [言語活動] 最近見たり聞いたりしたことについて表現する。 [題材内容] 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 [言語材料] 受け身:〈be 動詞+過去分詞〉 [言語活動] 好きな絵について、英語で述べることができる。
11	Lesson 7 A Diary of Hope	[題材内容] アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 [言語材料] 比較表現:〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉 [言語活動] 関心のある人物について、英語で説明することができる。
12	Lesson 8 A Door to a New Life Lesson 9 Fighting Plastic Pollution Lesson 10 Pigs from across the Sea Reading 2 The Wizard of Oz Extra Target 3 もし私が〇〇なら...	[題材内容] ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 [言語材料] 現在完了形:〈have[has]+過去分詞〉 [言語活動] 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 [題材内容] プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 [言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞

月	単元名	学習内容
	文法のまとめ 4	<p>[言語活動] 環境を守るためにできることについて、英語で述べるができる。</p> <p>[題材内容] 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞: who, which</p> <p>[言語活動] 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。</p> <p>[題材内容] 家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読する。</p> <p>[言語材料] 仮定法過去: <If+過去形の文, I would ….></p> <p>[言語活動] 「もし私が〇〇なら…」と想像して、しようと思うこと・できることについて、ペアになって対話をする。</p> <p>[言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞／関係詞／句読法</p>

【外国語】 英語コミュニケーションⅡ 年間学習指導計画

教科書	「All Aboard! English Communication II 」(CⅡ701)	単位数	4単位
	「All Aboard! English Communication II ワークブック」 (東京書籍)	学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles	<p>[題材内容] イタリアのプラーノ島への旅行を報告する SNS を通して、その島の特色について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞: what</p> <p>[言語活動] 海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。</p> <p>[題材内容] 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。</p> <p>[言語材料] 比較表現: more, the most</p> <p>[言語活動] 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べることができる。</p>
6	Lesson 3 Wild Men 文法のまとめ 1 Lesson 4 Little Hero Word Box 2 A Day in English : Part 1	<p>[題材内容] ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。</p> <p>[言語材料] it の用法</p> <p>[言語活動] 身近な行事について、英語で紹介することができる。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞／比較表現／it の用法</p> <p>[題材内容] 世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。</p> <p>[言語材料] 間接疑問文</p>

月	単元名	学習内容
		<p>[言語活動] 自分の好きな物語を英語で紹介することができる。</p> <p>[題材内容] 平日の生活でよく使われる語句や表現を学習する。</p> <p>[言語活動] 登校する日の出来事について、英語で表現して発表する。</p>
7	<p>Lesson 5 Special Makeup in Kabuki</p> <p>Word Box 3 The Body and Clothes Reading 1 Mujina</p>	<p>[題材内容] 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。</p> <p>[言語材料] to 不定詞を含む表現</p> <p>[言語活動] 日本の伝統文化について、英語で説明することができる。</p> <p>[題材内容] 身体の各部分や衣服・アクセサリなどを表す語句を学習する。</p> <p>[言語活動] 身体の各部分や衣服・アクセサリなどを表す語句を用いて、ふだん着ているものについて英語で対話する。</p> <p>[題材内容] 江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 情景や登場人物の心情を想像しながら、怪談を題材にした物語を暗唱する。</p>
10	<p>Lesson 6 Seeds for Future Generations</p> <p>Word Box 4 Various Jobs</p> <p>Lesson 7 Over the Wall</p> <p>Communication 2 入国審査</p>	<p>[題材内容] 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。</p> <p>[言語材料] 動詞の目的語になる if 節</p> <p>[言語活動] 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。</p> <p>[題材内容] 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を学習する。</p> <p>[言語活動] 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由を述べる。</p> <p>[題材内容] 世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係副詞: where, when</p> <p>[言語活動] 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。</p> <p>[言語活動] 海外旅行先の空港での入国審査においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。</p>
11	<p>Lesson 8 Inspiration from Nature</p>	<p>[題材内容] 生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。</p>

月	単元名	学習内容
	文法のまとめ 3 Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 文法のまとめ 4	[言語材料] 知覚動詞 [言語活動] 自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。 [言語材料] 動詞の目的語になる if 節／関係副詞／知覚動詞 [題材内容] チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。 [言語材料] 使役動詞 [言語活動] 社会的な問題について、英語で意見を述べるができる。 [言語材料] 使役動詞／分詞構文
12	Lesson 10 Fighting Angel Reading 2 Bear's Pie Word Box 5 A Day in English :Part 2	[題材内容] 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。 [言語材料] 分詞構文 [言語活動] 人を助ける職業について、英語で説明することができる。 [題材内容] 「アメリカで、ある小さなレストランを営む夫婦には、10 年前に家を出た息子がいた」という内容の朗読劇の結末を考えて、それを演じる。 [言語活動] 登場人物の気持ちを考えながら朗読劇を演じて発表する。 [題材内容] 平日の生活でよく使われる語句や表現を学習する。 [言語活動] 登校する日の行動について、英語で表現する。

【外国語】 英語コミュニケーションⅢ 年間学習指導計画

教科書	「All Aboard! English Communication Ⅲ」(CⅢ701)	単位数	4単位
	「All Aboard! English Communication Ⅲ ワークブック」 (東京書籍)	学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Lesson 1 Gifts to Barcelona Lesson 2 Akkamui	<p>[題材内容] ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおける、その意味について学習する。</p> <p>[言語材料] to 不定詞/動名詞</p> <p>[言語活動] 建築物について、英語で紹介することができる。</p> <p>[題材内容] 北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。</p> <p>[言語材料] 現在完了形</p> <p>[言語活動] 生き物の特徴について、英語で説明することができる。</p>
6	Lesson 3 Your True Colors Lesson 4 Our Future Food?	<p>[題材内容] 衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。</p> <p>[言語材料] 使役動詞</p> <p>[言語活動] ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。</p> <p>[題材内容] コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して、食糧問題について学習する。</p> <p>[言語材料] 受け身</p> <p>[言語活動] 食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。</p>
7	Lesson 5	[題材内容]

月	単元名	学習内容
	Madagascar Reading 1 The Fun They Had	<p>マダガスカルの自然と人々の生活を通して、地球環境や生態系について考える。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞</p> <p>[言語活動] 地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。</p> <p>[題材内容] 未来の機械化された学校と生徒の日常生活についての物語を読み、各場面の状況と登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら、やや複雑な構造の物語を音読する。</p>
10	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors Lesson 7 Green Challenges	<p>[題材内容] 古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞 (who, which) の非制限用法</p> <p>[言語活動] 訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>[題材内容] 地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、エネルギー問題とその解決策について学習する。</p> <p>[言語材料] 比較表現</p> <p>[言語活動] 再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。</p>
11	Lesson 8 Witnesses of War Lesson 9 The Wonders of Lightning Extra Target 1 過去完了形・ 過去完了進行形 Extra Target 2 無生物主語	<p>[題材内容] 原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して、平和の大切さについて考える。</p> <p>[言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞</p> <p>[言語活動] 経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>[題材内容] 海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについて学習する。</p> <p>[言語材料] 仮定法過去</p> <p>[言語活動] 電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。</p> <p>[言語材料] 過去完了形／過去完了進行形</p> <p>[言語活動] 部屋で起こったと思われることを過去完了形を用いて説明する。 ある動作がずっと継続していたことを過去完了進行形を用いて説明する。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>[言語材料] 無生物主語</p> <p>[言語活動] 無生物主語を用いて英語らしい表現に書き換えたり, 英文を完成させたりする。</p>
12	<p>Lesson 10 Katherine's Long Journey</p> <p>Reading 2 Table for Two</p>	<p>[題材内容] 人種差別の壁を越えて, 米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者, キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞 whose</p> <p>[言語活動] 社会に影響を与えた人物について, 英語でエッセイを書くことができる。</p> <p>[題材内容] ディケンズの本に導かれたような, 若い男女の2度の巡り会いの物語を読んで, 各場面の状況や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら音読する。</p>

【外国語】論理表現 I 年間学習指導計画

教科書	「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」 (論 I 701)	単位数	2単位
		学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

I 学習の到達目標

多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Unit I Lesson 1 初めての食事 Unit I Lesson 2 道に迷う Unit I Lesson 3 人物紹介	<p>[題材内容] 留学先での初めての食事の場面</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 褒める, 勧める, 断る</p> <p>[文法] 未来表現, 可算名詞・不可算名詞, 受動態</p> <p>[題材内容] 道に迷った・道を案内する場面</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 提案する, 依頼する, 道順を説明する</p> <p>[文法] (Could you ...?や命令文など)</p> <p>[題材内容] 身近な人を紹介するスピーチ</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 身近な人を紹介する, 注意を引く</p> <p>[文法] 現在完了形と過去形, to 不定詞と動名詞</p>
6	Unit I Lesson 4 体調が悪い Unit I Lesson 5 買い物	<p>[題材内容] 体調をめぐりやり取りの場面</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと</p>

月	単元名	学習内容
	Unit 1 Lesson 6 行ってみたい場所	<p>[言語の働き] 体調を伝える, 体調を尋ねる, 指示・アドバイスをする</p> <p>[文法] 冠詞・人称代名詞, should had better</p> <p>[題材内容] 買い物の場面</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 描写する, 相づちを打つ</p> <p>[文法] 現在形と現在進行形, 現在完了形と過去形</p> <p>[題材内容] 行ってみたい場所についてのライティング</p> <p>[領域](◎主/○従) ○話すこと ◎書くこと</p> <p>[言語の働き] 希望を述べる, 理由を述べる</p> <p>[文法] 後置修飾, to 不定詞と動名詞</p>
7	Unit 1 Lesson 7 イベントに誘われる Unit 1 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談 Unit 1 Lesson 9 お気に入りの紹介	<p>[題材内容] イベントに誘ったり, 誘われたりする場面</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 誘う, 誘いを受ける, 誘いを断る</p> <p>[文法] 未来表現</p> <p>[題材内容] スクールカウンセラーとやり取りをする場面</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 状況を説明する, 手助けを申し出る, 助言・提案する, お礼や感謝を伝える</p> <p>[文法] (how や why を用いた文)</p> <p>[題材内容] 自分のお気に入りの紹介するスピーチ</p> <p>[領域](◎主/○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 映画や本のあらすじを要約したり, 登場人物などを紹介したりする, 感</p>

月	単元名	学習内容
		想や批評を述べる [文法] 前置修飾, 後置修飾
10	Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻 Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿	[題材内容] 待ち合わせに遅刻したときの場面 [領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと [言語の働き] 相手に謝る, 相手を許す, 相手を励ます [文法] 使役動詞, to 不定詞と動名詞 [題材内容] 家庭内で身近な社会問題についてディスカッションする場面 [領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと [言語の働き] 共感を述べる, 残念な気持ちを述べる, 解決策を提案する [文法] 仮定法 [題材内容] 学校の英字新聞に投稿する記事のライティング [領域](◎主/○従) ○話すこと ◎書くこと [言語の働き] 要望や主張を述べる, 理由を述べる [文法] 仮定法
11	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート② Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介	[題材内容] 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 [領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと [言語の働き] 理由を述べる, 例を挙げる [文法] to 不定詞と動名詞 [題材内容] 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 [領域](◎主/○従) ◎話すこと(やり取り) ○書くこと [言語の働き] 相手の意見に反駁する, 相手の意見を引用する

月	単元名	学習内容
		<p>[文法] 否定語の使い方</p> <p>[題材内容] 自らの子供のころの経験についてのスピーチ</p> <p>[領域](◎主／○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] できごとをいきいきと描写する, 経験からアドバイスをする</p> <p>[文法] 後置修飾, 受動態</p> <p>[題材内容] オリエンテーリングのルールや手順を紹介するスピーチ</p> <p>[領域](◎主／○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] ルールや手順を順序だてて説明する, 聞き手の知識に合わせて説明する</p> <p>[文法] 現在完了形と過去形</p>
12	<p>Unit 2 Lesson 5 日本をPR</p> <p>Unit 2 Lesson 6 物語の両面を伝える</p> <p>Unit 2 Lesson 7 読み手を納得させる</p> <p>Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する</p>	<p>[題材内容] 日本の文化(こんにやく)をPRするスピーチ</p> <p>[領域](◎主／○従) ◎話すこと(発表) ○書くこと</p> <p>[言語の働き] 事実と意見を区別して述べる, 文化や習慣を説明する</p> <p>[文法] and, but, so</p> <p>[題材内容] 兄弟姉妹とのルームシェアについてのライティング</p> <p>[領域](◎主／○従) ○話すこと ◎書くこと</p> <p>[言語の働き] 利点と欠点を述べる, 話題を発展させる, 話題を変える</p> <p>[文法] 名詞と無生物主語</p> <p>[題材内容] 外国映画の見方についてのライティング</p> <p>[領域](◎主／○従) ○話すこと ◎書くこと</p> <p>[言語の働き] 自分の主張について理由を説明する, 理由を要約してまとめる</p> <p>[文法] (分詞構文)</p>

月	単元名	学習内容
		<p>[題材内容] 海外に行くことについてのライティング</p> <p>[領域](◎主/○従) ○話すこと ◎書くこと</p> <p>[言語の働き] 人の発言を直接引用する, 条件を出して意見を述べる, 説得する</p> <p>[文法] 名詞と無生物主語</p>

【家庭】 家庭基礎 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「家庭基礎」(東書 家基 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる 第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。 ・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。
6	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境 第4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。 ・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのよ

月	単元名	学習内容
	3 これからの超高齢社会 第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	<p>うな支援が必要か、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 ・超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。 ・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 ・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。
7	第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食品の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。 ・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。 ・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。
10	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した衣生活について考え, 実践できる力を身につけるために, 被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 ・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために, 日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り, 日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために, 資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。 ・全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。
11	<p>第8章 住生活をつくる</p> <p>1 住生活の変遷と住居の機能</p> <p>2 安全で快適な住生活の計画</p> <p>3 住生活の文化と知恵</p> <p>4 これからの住生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した住生活について考え, 将来に向けて自立するために, 私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・自らの住生活に生かすことができるよう, 防災, 日照, 換気などに関する環境性能について理解を深め, 快適かつ健康, 安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 ・日本の住文化の継承・創造に寄与するために, 気候や風土の違い, 時代の変化によって, 大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ・持続可能な住居や, 自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり, まちづくりの担い手になるために, 環境に配慮した住生活について理解する。
12	<p>第9章 経済生活を営む</p> <p>1 情報の収集・比較と意思決定</p> <p>2 購入・支払いのルールと方法</p> <p>3 消費者の権利と責任</p> <p>4 生涯の経済生活を見通す</p> <p>5 これからの経済生活</p> <p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>1 持続可能な社会を目指して</p> <p>第11章 これからの生活を創造する</p> <p>1 生活をデザインする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した責任ある消費者として, よりよい意思決定ができるよう, 現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう, 契約の重要性について理解する。 ・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう, 消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて, どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。 ・生涯安定した経済生活を営めるように, 経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。 ・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため, 家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。 ・持続可能な社会を構築するために, 持続可能な消費や生活について理解し, ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として, 社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。 ・人生の目標を達成し, 自分らしい生活が実現できるよう, 各ライフステージの課題や生活資源, リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために, 何ができるか考えて実践しようとする。

【情報】 情報 I 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編 情報 I」(東書 情 I 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- | |
|---|
| <p>①大量の情報の中から情報の真偽を正しく判断し、自分に必要な情報を選択する力を身につけるために必要な、基礎的な知識を習得する。(情報の評価、判断力、情報収集・選択能力)</p> <p>②情報化の進む社会に積極的に参画するために、正しい情報モラルを身につける。</p> |
|---|

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1章 情報で問題を解決する 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ 3 発想法 4 情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の特性から、情報とは何か理解できる。 ・さまざまなメディアの特性を理解する。 ・問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。 ・粘り強く、多様な意見をまとめようとしている。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。
6	1 個人情報の流出 2 著作権 3 情報技術の発展 4 よりよい情報社会へ 5 章末資料	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報とはどのようなものか理解する。 ・SNSを通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。 ・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。 ・情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解する。
7	2章 情報を伝える 1 コミュニケーション手段の変化 2 ネットコミュニケーションの特徴 3 デジタルの世界へ 3 数値と文字のデジタル表現 4 色と動画のデジタル表現 5 色と動画のデジタル表現 6 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのメディアの特徴について理解している。 ・ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。 ・2進法と情報の単位について学習する。 ・文字のデジタル表現について学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・情報デザインとは何か学習する。 ・情報デザインの方法である抽象化、可視化、構造化を理解する。 ・身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化に分類することができる。
10	3章 コンピュータを活用する 1 コンピュータとは何か 2 ソフトウェアの仕組み 3 アルゴリズムの表現 4 アルゴリズムの表現 5 プログラムの基本構成 6 発展的なプログラム 2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本構成について理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアの仕組みについて理解する。 ・プログラムがどのような命令で構成されているか理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。 ・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。 ・生活の中のシミュレーションの事例を学習する。

月	単元名	学習内容
	7 モデル化とシミュレーション	
11	4章 データを活用する 1 ネットワークとインターネット 2 インターネットの仕組み 3 インターネット上のサービス 4 情報セキュリティ 5 データベースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な構成について学習する。 ・インターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・WWW について理解する。 ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機密性, 完全性, 可用性について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。
12	6 データ分析の流れ 7 章末資料 5章 活動して提案する 1 章末資料 巻末 1 ファイル形式の種類と特徴 2 2進法の計算 3 ふりがなプログラミング手帳	<ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・身体の一部を使って, 本人であることを確認する方法として生体認証がある事を学ぶ。 ・プログラム言語にはどんなものがあるか学ぶ。

【総合】 総合的な探究の時間 Ⅰ 年間学習指導計画

教科書	なし	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 Ⅰ年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

自分自身に関することへの理解をもとに、課題を立てることができる。(自己理解、興味・関心、教養)

2 実施内容等

面接指導	面接指導施設	3時間 ※1	【自分を知る】①学習の到達目標を確認する。 ②自己を振り返る。 【適性診断】①簡易適性診断をもとに、自己を分析する。 <観察・実験・実習>(体験活動) 過去のエピソードから自己を分析、適性検査に基づく自己分析 等 <発表>(言語活動) グループワーク 等
	メディア視聴	3時間 ※2	メディア学習を通して、進路を考える土台となる教養、知識を身につける。 指定メディア:ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校作成動画
レポート		6枚	広い視野をもった教養、知識を身につける。 課題に沿って参考動画から学び、自分自身で調べ、考察する。 学習の成果を、表現方法を工夫しながら、発表(レポートの形に仕上げる)する。 テーマ:世界遺産、自然環境、産業、人を知る、ネットリテラシー

※1 実施内容の時間配分は、実施者の裁量とする。但し、面接指導を分割して実施する場合、1 単位時間(50分)で設定する。

※2 50分以上の動画4本(テーマ:教養、自己分析)を3回に分けて視聴

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容		
		レポート	面接指導	メディア視聴
前期	4		オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	
	5	レポートNo.1 提出		
	6	レポートNo.2 提出		視聴票No.1 提出
	7	レポートNo.3 提出		
	8			
後期	9			
	10	レポートNo.4 提出		視聴票No.2 提出
	11	レポートNo.5 提出		
	12	レポートNo.6 提出	視聴票No.3 提出	
	1			
	2			
	3		単位認定(通年履修・後期履修)	

【総合】 総合的な探究の時間Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	なし	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

実社会や実生活から、自己との関わりの中に課題を見出し、探究することができる。
 (職業調査、勤労意識の醸成)

2 実施内容等

面接指導	面接指導施設	3時間 ※1	【適性診断・職業調査】①学習の到達目標を確認する。②適性検査を実施する等。 ③職業調査 <観察・実験・実習>(体験活動) 適性検査に基づく職業調査 等 <学習発表>(言語活動) グループワーク 等
	メディア視聴	3時間 ※2	メディア学習を通して、進路を考える土台となる教養、知識を身につける。 指定メディア:ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校作成動画
レポート		6枚	広い視野をもった教養、知識を身につける。 課題に沿って参考動画から学び、自分自身で調べ、考察する。 学習の成果を、表現方法を工夫しながら、発表(レポートの形に仕上げる)する。 テーマ:世界遺産、自然環境、産業、人を知る、次世代都市づくり

※1 実施内容の時間配分は、実施者の裁量とする。但し、面接指導を分割して実施する場合、1 単位時間(50分)で設定する。

※2 45分以上の動画4本(テーマ:教養、自己分析、キャリアプランニング)を3回に分けて視聴

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容		
		レポート	面接指導	メディア視聴
前期	4		オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	
	5	レポートNo.1 提出		
	6	レポートNo.2 提出		視聴票No.1 提出
	7	レポートNo.3 提出		
	8			
後期	9			
	10	レポートNo.4 提出	オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	視聴票No.2 提出
	11	レポートNo.5 提出		
	12	レポートNo.6 提出		視聴票No.3 提出
	1			
	2			
3		単位認定(通年履修・後期履修)		

【総合】 総合的な探究の時間Ⅲ 年間学習指導計画

教科書	なし	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

自己の進路実現に向けて現実的に検討し、探究する機会を設定することができる。 (進路探究、自己表現)
--

2 実施内容等

面接指導	面接指導施設	3時間 ※1	【人生における意思決定】【自己表現】①学習の到達目標を確認する。 ②高校卒業後にどういう場面で意思決定を求められるかケーススタディを行う。 ③面接シートや履歴書記入を通じて自己の立ち位置を把握し、進路実現に向けての課題を認識し、その手段を模索する。 <観察・実験・実習>(体験活動)適性検査に基づく職業調査 等 <学習発表>(言語活動) グループワーク 等
	メディア視聴	3時間 ※2	メディア学習を通して、進路を考える土台となる教養、知識を身につける。 指定メディア:ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校作成動画
レポート		6枚	広い視野をもった教養、知識を身につける。 課題に沿って参考動画から学び、自分自身で調べ、考察する。 学習の成果を、表現方法を工夫しながら、発表(レポートの形に仕上げる)する。 テーマ:世界遺産、自然環境、産業、人を知る、国際教養

※1 実施内容の時間配分は、実施者の裁量とする。但し、面接指導を分割して実施する場合、1 単位時間(50分)で設定する。

※2 45分以上の動画4本分(テーマ:教養、自己分析・キャリアプランニング)を3回に分けて視聴

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容		
		レポート	面接指導	メディア視聴
前期	4		オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動)等	
	5	レポートNo.1 提出		
	6	レポートNo.2 提出		視聴票No.1 提出
	7	レポートNo.3 提出		
	8			
後期	9			
	10	レポートNo.4 提出	オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動)等	視聴票No.2 提出
	11	レポートNo.5 提出		
	12	レポートNo.6 提出		視聴票No.3 提出
	1			
	2			
3		単位認定(通年履修・後期履修)		